

南相馬市 市民意識調査

調査結果報告書

2017 年 10 月

南相馬市復興企画部企画課

目 次

調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査期間	1
3. 調査対象	1
4. 調査方法	1
5. 回収状況	1
6. 調査結果の見方	1
調査結果の総括	2
1. 生活の不安・心配	2
2. 生活改善に必要な施策	2
3. 復興取組の総合評価	3
4. 各施策の評価	3
5. 今後の定住意向	4
6. 若い世代が南相馬市に住み続けるために重要なこと	4
7. 生活の充実度	5
8. 充実した生活を送るための条件	6
調査結果の詳細	7
1. 回答者のプロフィール	7
（1）性別	7
（2）年齢	7
（3）現在の居住地	7
（4）震災前の居住地	9
（5）現在の居住形態	11
（6）世帯構成	11
（7）職業	12
（8）居住状況	13
（9）居住年数	13
2. 生活の不安・心配	14
3. 放射線不安を払拭するための効果的な取組	15
4. 生活改善に必要な施策	16
5. 復興取組の総合評価	17
6. 各施策の評価	18
7. 今後の定住意向	22

8 . 南相馬市に居住し続けたい理由	23
9 . 南相馬市で暮らすための条件	24
10 . 若い世代が南相馬市に住み続けるために重要なこと	25
11 . 生活の充実度	26
12 . 充実した生活を送るための条件	27
13 . 力を入れるべき施策分野	29
14 . 【産業・交流】力を入れるべき事項	30
15 . 【子育て・医療・健康・福祉】力を入れるべき事項	31
16 . 【消防・防災】力を入れるべき事項	32
17 . 【環境・インフラ（社会基盤）整備】力を入れるべき事項	33
18 . 【教育・文化】力を入れるべき事項	34
19 . 【地域づくり】力を入れるべき事項	35

調査概要

1．調査の目的

本市では、未だ多くの市民が避難生活を余儀なくされており、また原発事故による風評の払拭や震災に伴う急激な少子高齢化、若い世代の人口減少への対応など、様々な地域課題を抱えている。そのような状況下で、本市の抱える課題を整理・分析するとともに、今後の南相馬市について住民の意向を把握し、新しい魅力的なまちづくりを進めるための基礎資料として活用することを目的とし、調査を実施した。

2．調査期間

平成 29 年 6 月 28 日（水）～平成 29 年 7 月 18 日（火）

3．調査対象

本市に住民登録をしている 18 歳以上の市民のうち、無作為に抽出された 3,000 人

4．調査方法

郵送による配布・回収

5．回収状況

配付数	総回収数	有効回収数	有効回収率 /
3,000	1,211	1,209	40.3%

6．調査結果の見方

- (1) N (number of cases) は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても 100.0%にならない場合がある。また、回答者が 2 つ以上の回答をすることができる複数回答形式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると 100.0%を超える。
- (3) 図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- (4) 年齢別分析において、19 歳以下については調査数が少ないため、分析を省略する。

調査結果の総括

1. 生活の不安・心配

市民の心配として、「放射線による人体への影響」「賠償・補償金の問題」が減少。

	今回調査		前回調査	
1位	体調面や健康面（放射線以外）	40.8%	体調面や健康面（放射線以外）	40.6%
2位	医療・福祉サービス	36.4%	放射線による人体への影響	40.0%
3位	放射線による人体への影響	35.3%	医療・福祉サービス	35.6%
4位	生活資金の確保	21.6%	生活資金の確保	22.4%
5位	仕事や雇用	17.6%	賠償・補償金の問題	19.1%

生活で抱えている不安や心配は、「体調面や健康面（放射線以外）」が40.8%と最も多い。

前回調査と比較すると、「放射線による人体への影響」が約5ポイント下降、「賠償・補償金の問題」が約4ポイント下降しており、放射線や賠償・補償金よりも健康や医療、生活資金、雇用の状況などについて心配に思う市民が多くなっていることがわかる。

詳細な結果についてはP15参照

	放射線不安を払拭するための効果的な取組	
1位	行政からのきめ細やかな情報提供	57.4%
2位	食品検査体制の強化	52.9%
3位	内部被ばく検診の充実	41.5%
4位	モニタリングの強化	38.9%
5位	外部被ばく測定の充実	31.6%

放射線不安を払拭するための効果的な取組としては、「行政からのきめ細やかな情報提供」、「食品検査体制の強化」が5割以上、次いで「内部被ばく検診の充実」が41.5%となっている。

詳細な結果についてはP19参照

2. 生活改善に必要な施策

生活改善の施策は「医療の充実」がトップ。「公共交通の充実」が減少。

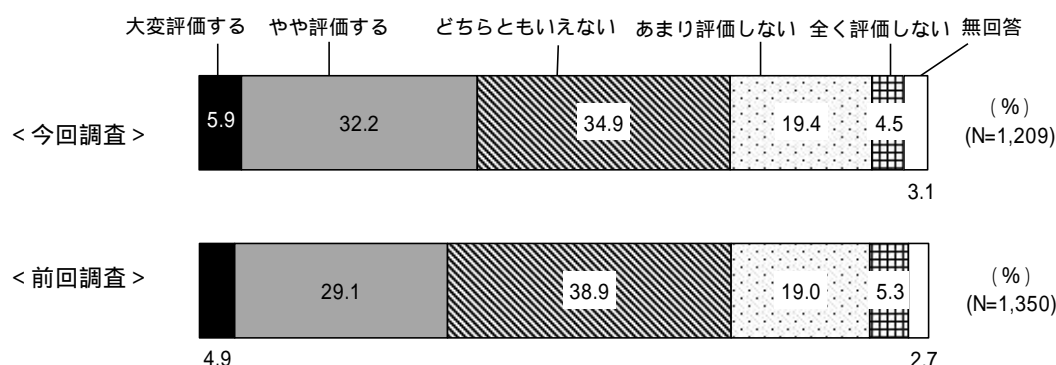
	今回調査		前回調査	
1位	通院・入院など医療サービスの充実	51.5%	通院・入院など医療サービスの充実	51.6%
2位	高齢者福祉サービスの充実	44.7%	鉄道・バス等公共交通の充実	42.8%
3位	鉄道・バス等公共交通の充実	38.5%	高齢者福祉サービスの充実	40.8%
4位	商店やスーパーなど商業施設の充実	35.4%	商店やスーパーなど商業施設の充実	34.5%
5位	健康診断や相談など健康管理の支援	22.7%	放射線の詳細な情報や知識の周知	25.3%

日常生活の改善に必要な施策は、「通院・入院など医療サービスの充実」が51.5%と最も多い。

前回調査と比較すると、「鉄道・バス等公共交通の充実」が約4ポイント下降、「高齢者福祉サービスの充実」が約4ポイント上昇し、順位の入れ替わりがみられる。

3. 復興取組の総合評価

《高評価層》が増加しており、復興に関する評価が昨年度よりも高い。

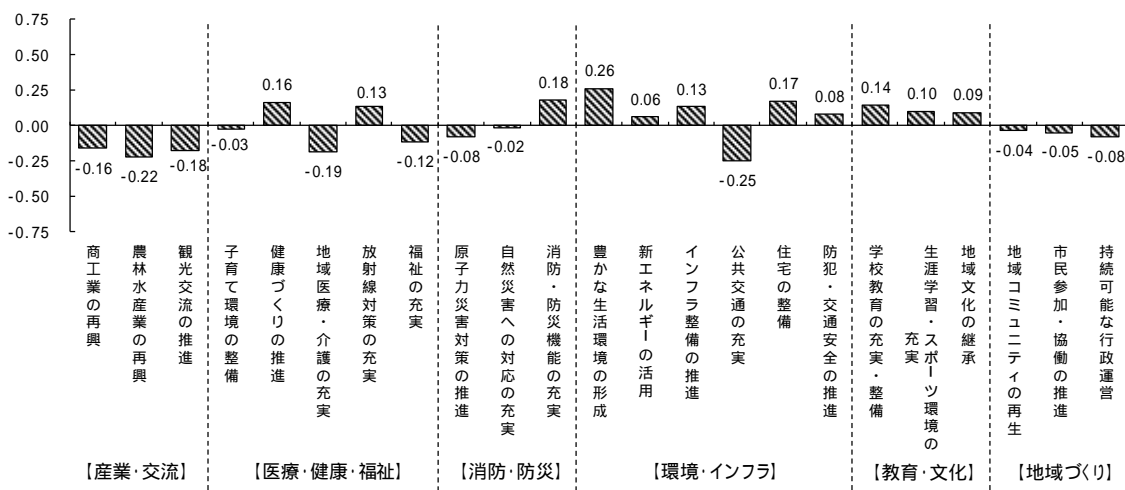


南相馬市の復興への取り組みに対する評価は、「大変評価する」(5.9%)と「やや評価する」(32.2%)を合わせた《高評価層》は38.1%、「全く評価しない」(4.5%)と「あまり評価しない」(19.4%)を合わせた《低評価層》は23.9%となっている。

前回調査と比較すると、《低評価層》は大きな変動はないものの、《高評価層》が約4ポイント上昇しており、市民の復興に関する総合的な評価が昨年度よりも高まっていることがわかる。

4. 各施策の評価

健康づくり・消防・生活環境・住宅などの評価が高く、農林水産業・公共交通などの評価が低い。



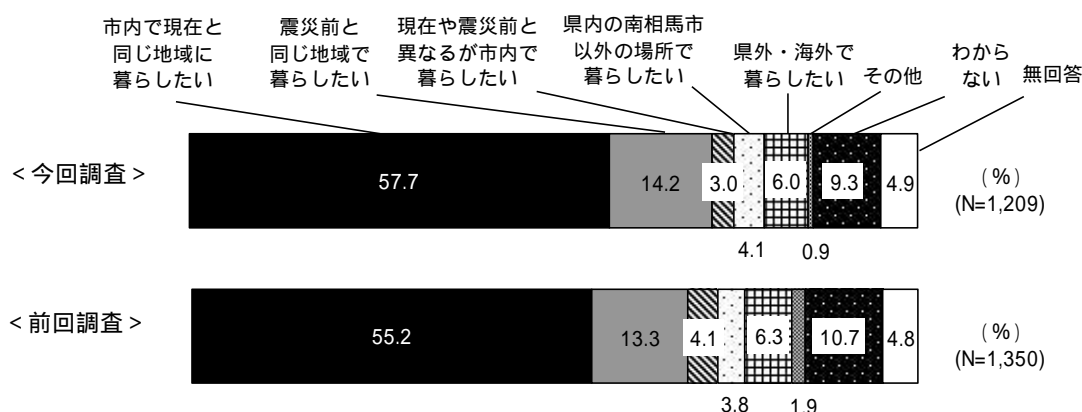
各施策の評価について、項目ごとに評価点を算出した（評価点の算出方法についてはP28参照）。

この結果、評価点がプラスになった項目は、「健康づくりの推進」、「放射線対策の充実」、「消防・防災機能の充実」、「豊かな生活環境の形成」、「新エネルギーの活用」、「インフラ整備の推進」、「住宅の整備」、「防犯・交通安全の推進」、「学校教育の充実・整備」、「生涯学習・スポーツ環境の充実」、「地域文化の継承」であり、これらの項目は評価が高いことがわかる。

一方、これ以外の項目は評価点がマイナスとなり、特に「農林水産業の再興」、「公共交通の充実」は評価が低くなっている。

5. 今後の定住意向

市内での定住希望者は全体の約7割。「市内で現在と同じ地域に暮らしたい」人が増加。



今後の南相馬市での定住意向については、「市内で現在と同じ地域に暮らしたい」が57.7%と最も多く、「震災前と同じ地域で暮らしたい」(14.2%)、「現在や震災前と異なるが市内で暮らしたい」(3.0%)を合わせると、市内での定住を希望する人は全体の約7割となっている。

前回調査と比較すると、「市内で現在と同じ地域に暮らしたい」が約3ポイント上昇しており、現在の場所での定住意向がやや高くなっている。

6. 若い世代が南相馬市に住み続けるために重要なこと

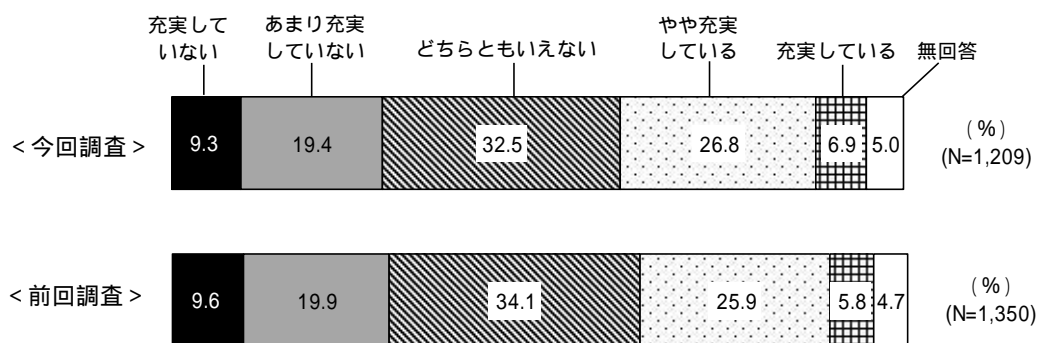
若い世代の居住として、医療・雇用・子育ての重要性が高い。

若い世代が南相馬市に住み続けるために重要なこと		
1位	医療や福祉面の充実	71.2%
2位	市内で働く場の確保	69.4%
3位	子育てに対する支援	58.5%
4位	放射線対策の充実	45.0%
5位	公共交通機関の充実	43.8%

若い世代が南相馬市に住み続けるために重要なことについては、「医療や福祉面の充実」、「市内で働く場の確保」がともに約7割と多くなっている。他設問においても回答数が比較的多い医療に関する項目のほか、雇用や子育てに関する項目が回答数の上位っており、若い世代の居住という点では、これらの項目が重要視されていることがわかる。

7. 生活の充実度

生活の充実度は《高充実度層》が 33.7%、《低充実度層》が 28.7%。



生活の充実度については、「充実している」(6.9%)と「やや充実している」(26.8%)を合せた《高充実度層》は33.7%、「充実していない」(9.3%)、「あまり充実していない」(19.4%)を合わせた《低充実度層》は28.7%となっている。

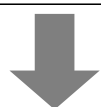
前回調査と比較すると、《高充実度層》は2ポイント上昇、《低充実度層》は約1ポイント下降しており、充実度の上昇がみられる。

8. 充実した生活を送るための条件

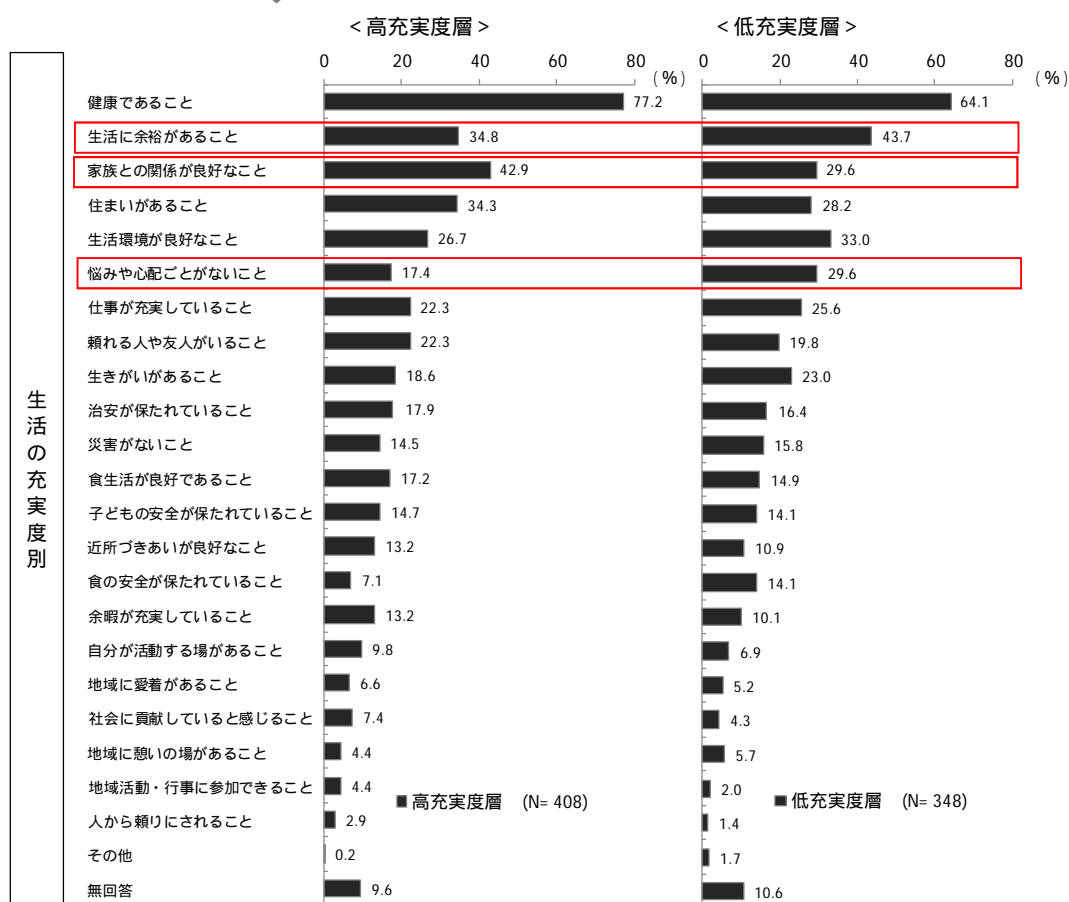
充実した生活を送るために必要な条件は「健康であること」が最も多い。

《高充実度層》は「家族関係」、《低充実度層》は「生活の余裕」、「悩みがないこと」を生活の充実のために重視している。

	今回調査		前回調査	
1位	健康であること	69.7%	健康であること	68.8%
2位	生活に余裕があること	37.1%	住まいがあること	36.6%
3位	家族との関係が良好なこと	34.4%	生活に余裕があること	34.7%
4位	住まいがあること	31.2%	家族との関係が良好なこと	32.6%
5位	生活環境が良好なこと	29.9%	生活環境が良好なこと	29.3%



今回調査の各項目を
生活の充実度別にみると...



充実した生活を送るために必要な条件については、「健康であること」が69.7%と最も多く、次いで「生活に余裕があること」(37.1%)となっている。

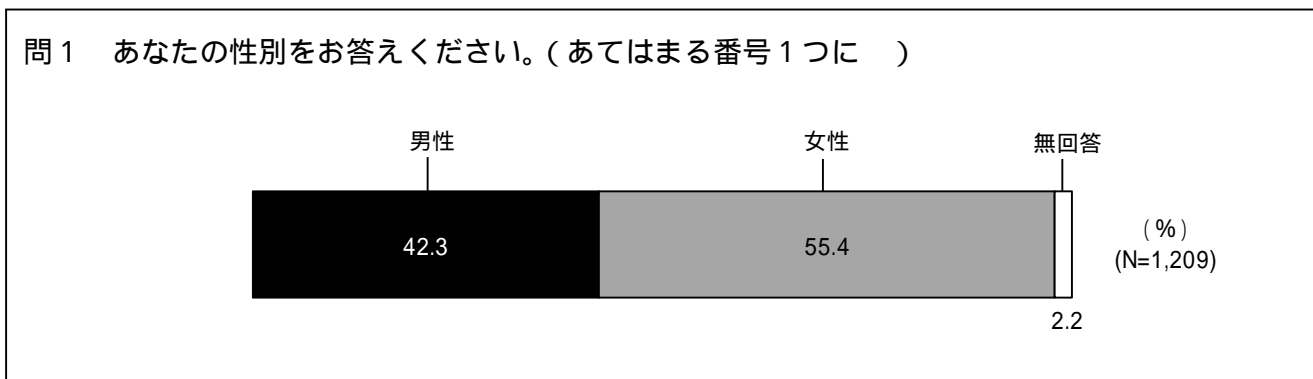
生活の充実度別にみると、《高充実度層》は「家族との関係が良好なこと」が《低充実度層》に比べて多くなっており、《高充実度層》は家族関係を生活の充実のために重視していることがわかる。

一方、《低充実度層》は「生活に余裕があること」、「悩みや心配ごとがないこと」が《高充実度層》に比べて多くなっており、《低充実度層》の生活充実度向上のためには、生活の余裕や悩みについての改善が必要であることがわかる。

調査結果の詳細

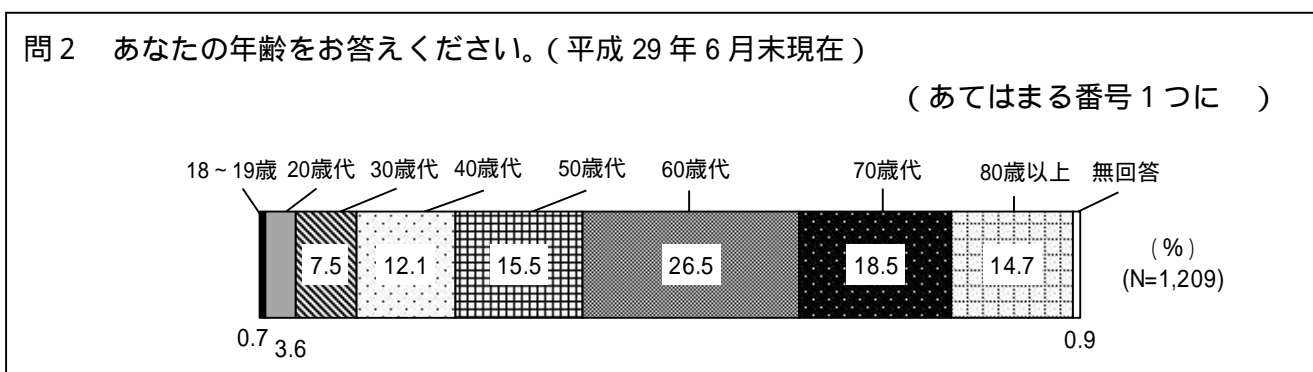
1. 回答者のプロフィール

(1) 性別



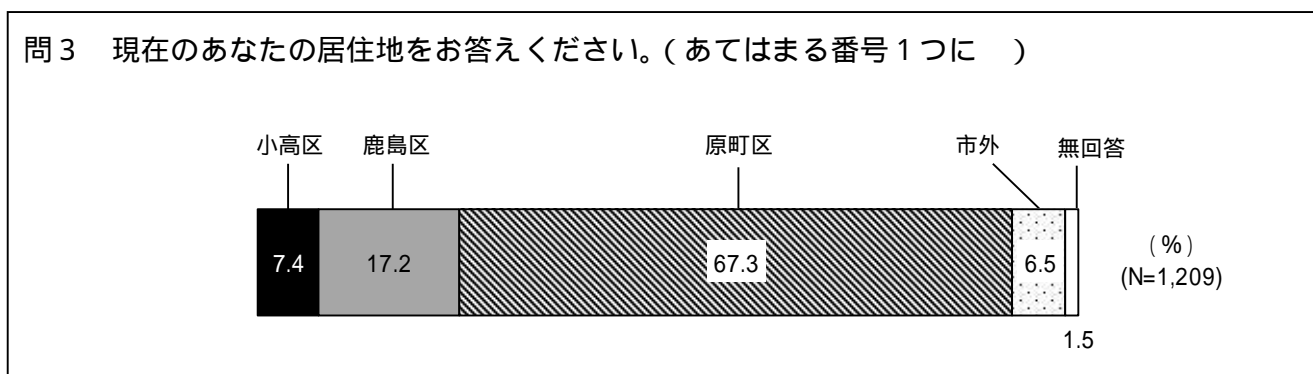
回答者の性別は、男性が42.3%、女性が55.4%となっている。

(2) 年齢



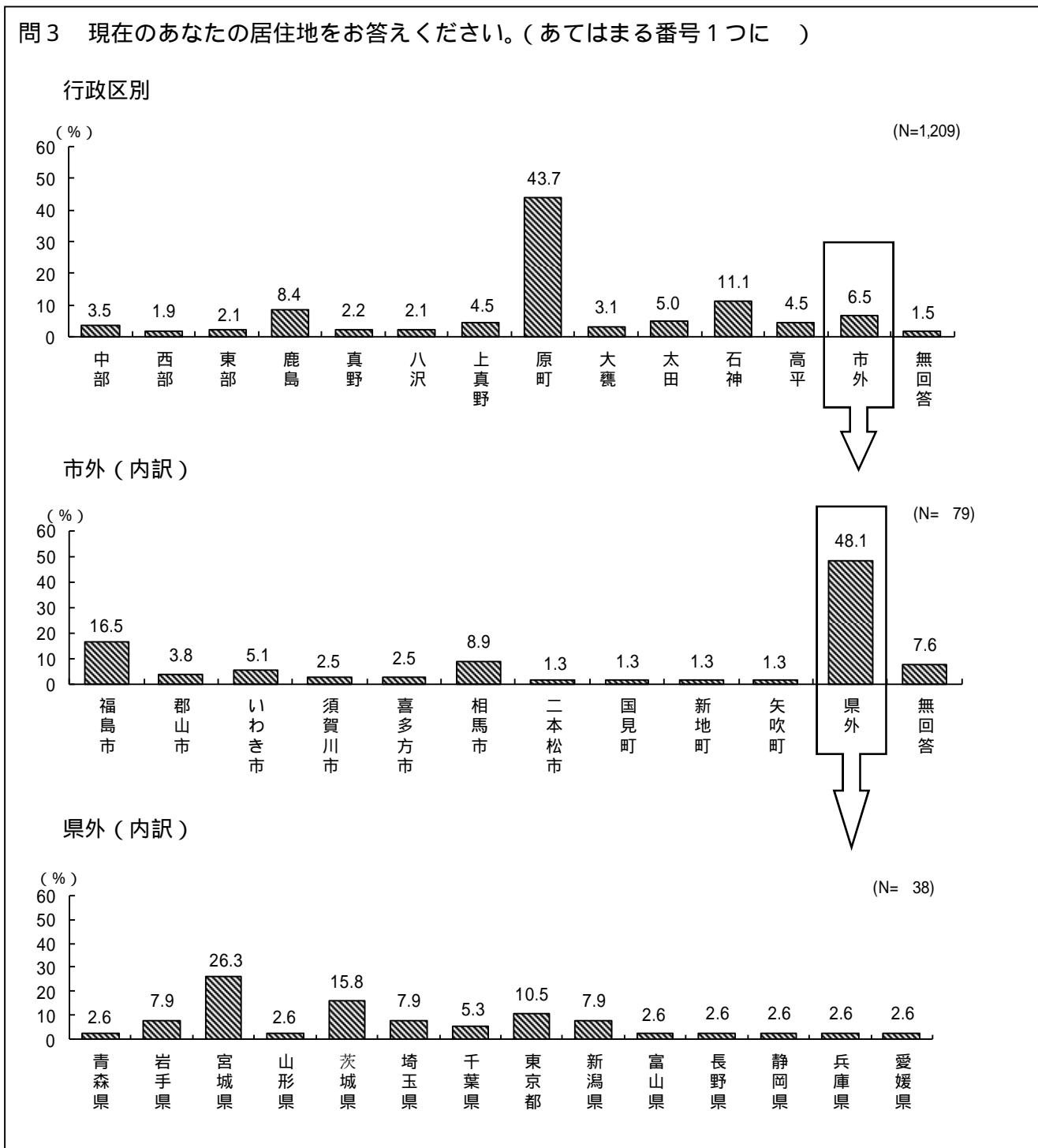
回答者の年齢は、60歳代の回答が最も多く26.5%となっており、60歳以上の高齢者が全体の約6割を占める。

(3) 現在の居住地



現在の居住地については、「原町区」が67.3%と多く、7割弱を占める。

(3) 現在の居住地(つづき)



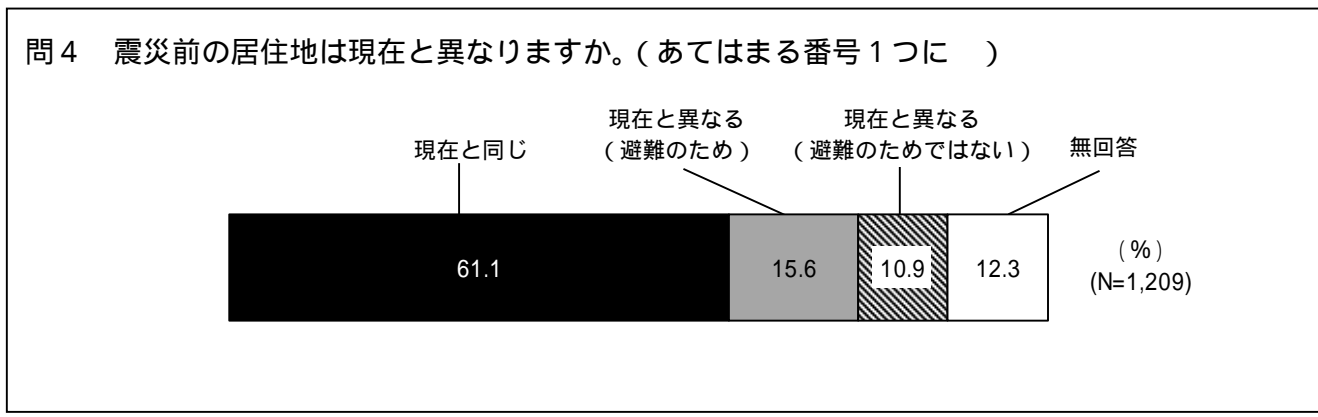
現在の居住地については、「原町」が43.7%と最も多く、「市外」居住者は6.5%となっている。

市外と回答した方の居住地を見ると、「県外」(48.1%)が約半数を占めており、福島県内居住地では「福島市」(16.5%)、「相馬市」(8.9%)が多い。

県外居住者の内訳をみると、「宮城県」が26.3%と最も多く、次いで「茨城県」が15.8%、「東京都」が10.5%となっている。

(4) 震災前の居住地

居住地の変化

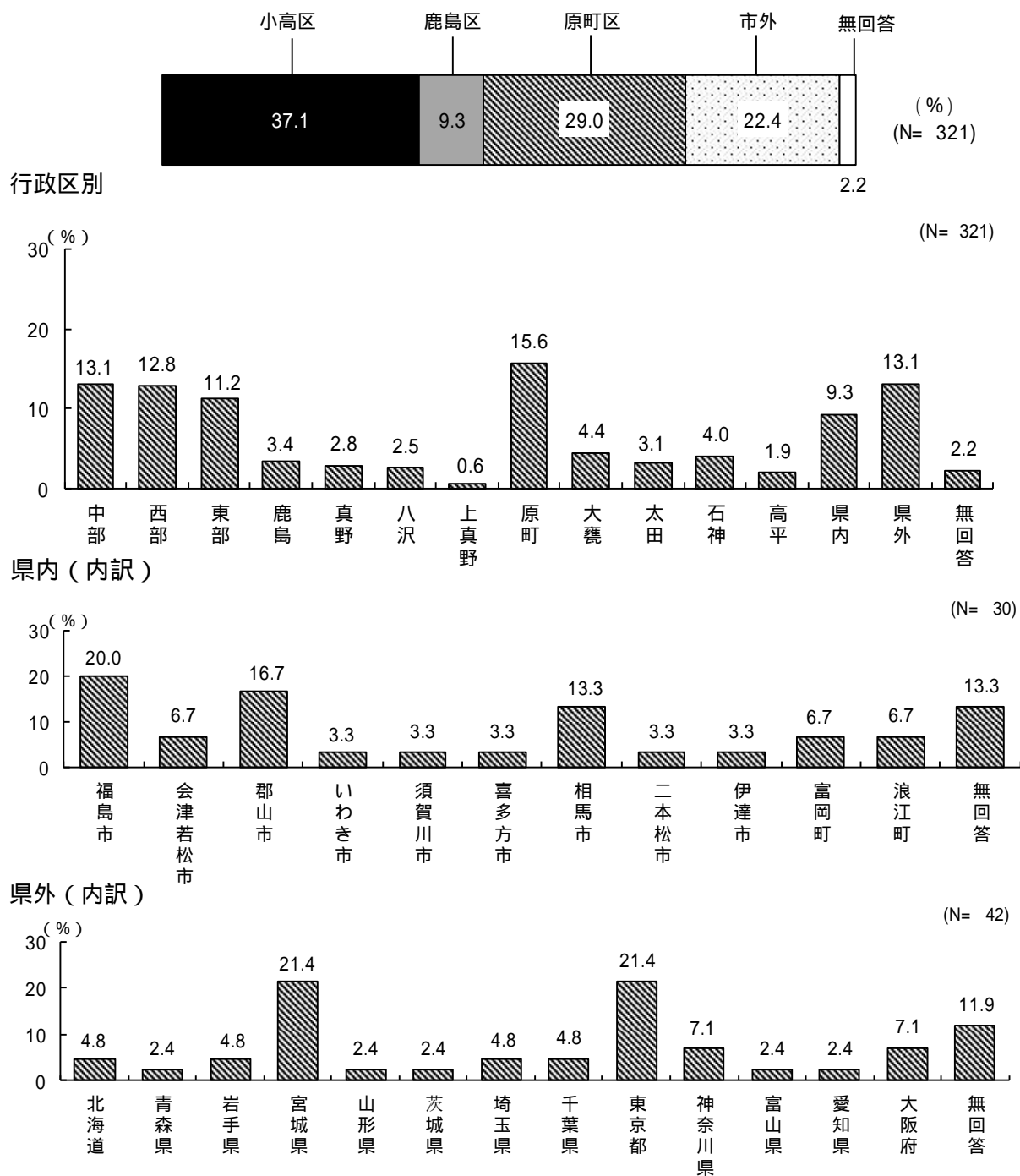


震災前との居住地の変化について、「現在と同じ」と回答した人が 61.1%と全体の約 6 割を占めており、「現在と異なる (避難のため)」と回答した人は 15.6%となっている。

震災前の居住地

【問4で「現在と異なる」(「2」または「3」)と回答した方におたずねします。】

問4-1 震災前の居住地をお答えください。(あてはまる番号1つに)

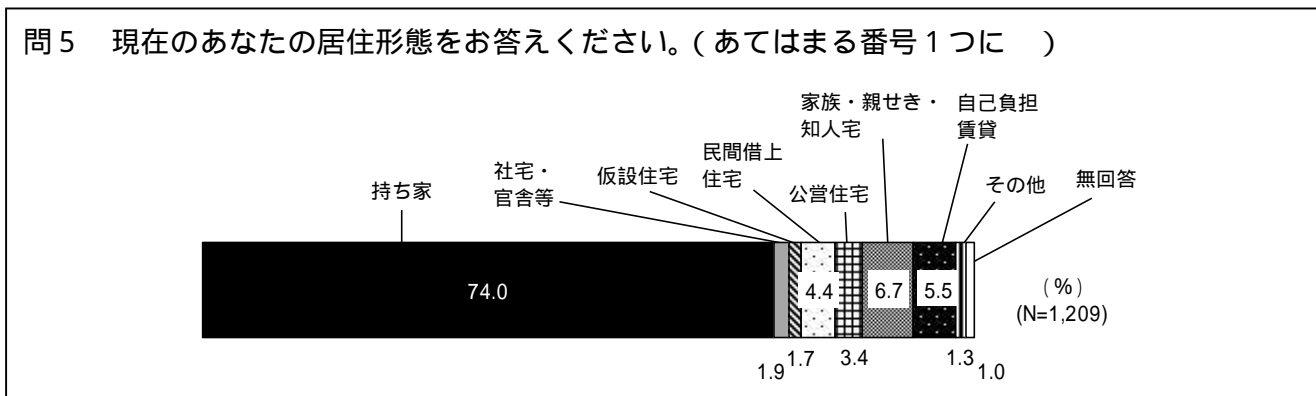


震災前と現在の居住地が異なる方の震災前の居住地は、「小高区」が 37.1%と最も多く、次いで原町区が 29.0%となっている。

行政区別では、「原町」が 15.6%と最も多く、他「中部」(13.1%)、「西部」(12.8%)、「東部」(11.2%)、「県外」(13.1%)が1割を超えている。

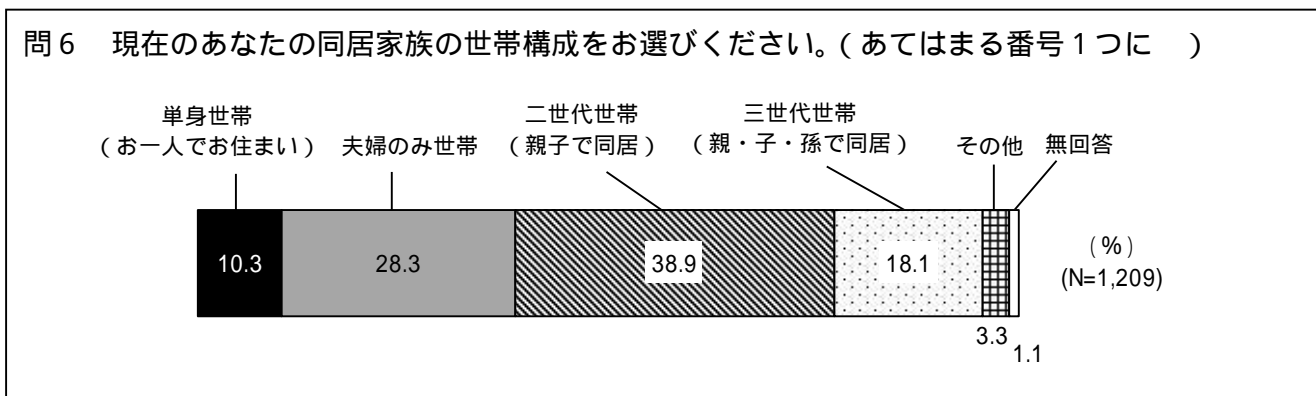
南相馬市以外の県内居住地は、「福島市」(20.0%)、「郡山市」(16.7%)、「相馬市」(13.3%)が多く、県外居住地は「宮城県」および「東京都」(ともに 21.4%)が多い。

(5) 現在の居住形態



居住形態について、「持ち家」が74.0%と過半数となっている。

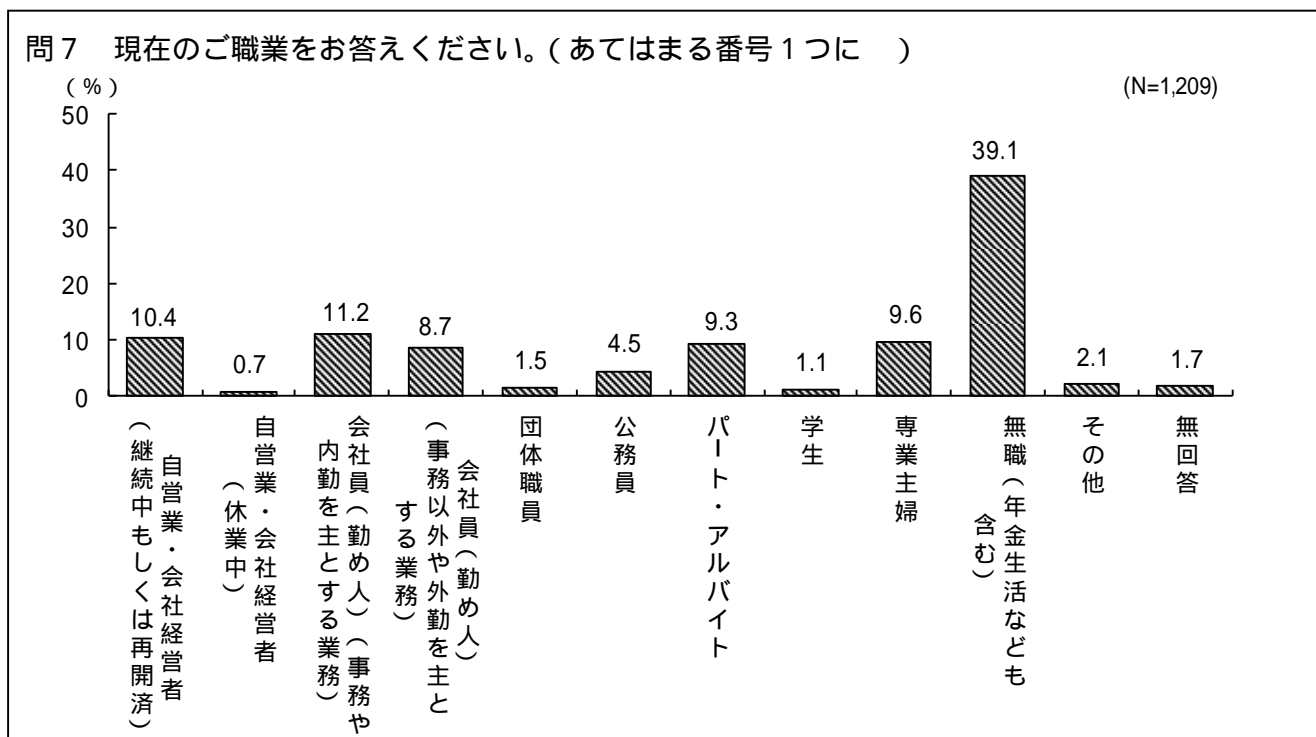
(6) 世帯構成



同居家族の世帯構成では「二世世代世帯(親子で同居)」が38.9%と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が28.3%となっている。

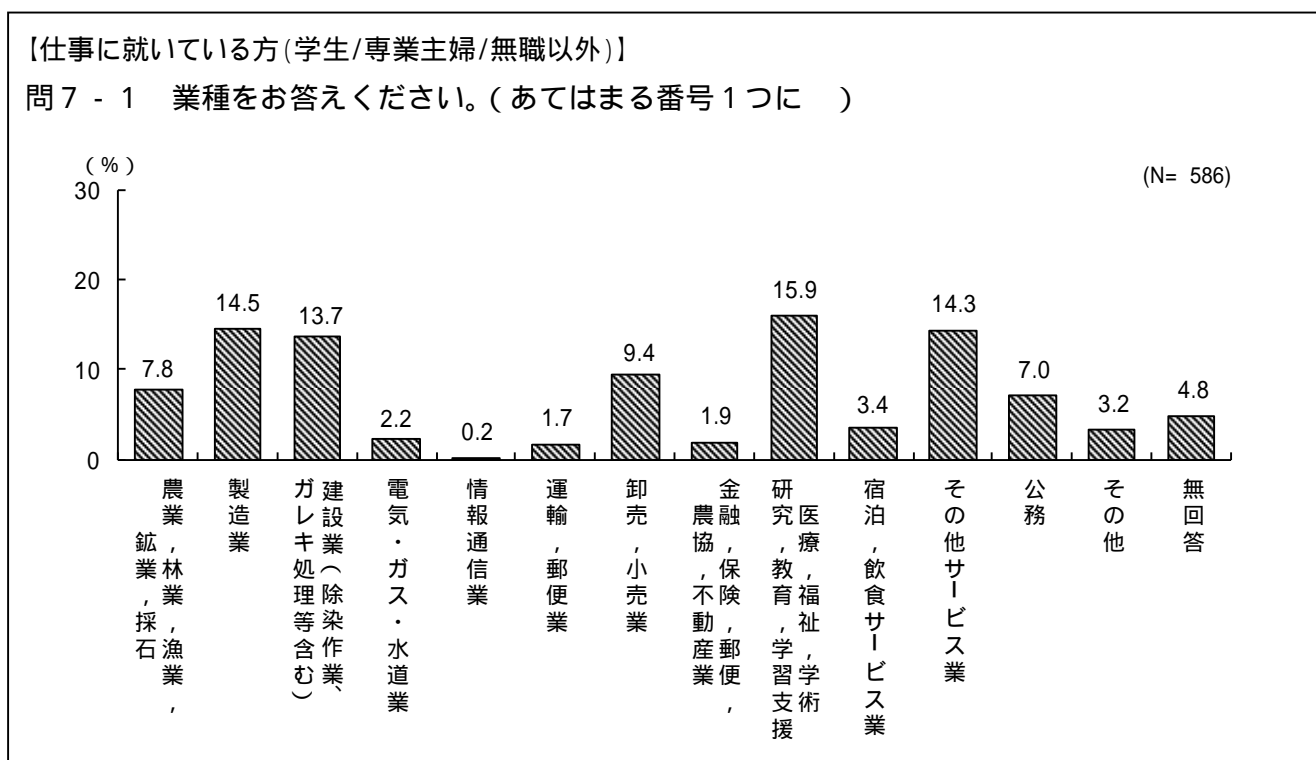
(7) 職業

職業（現在）



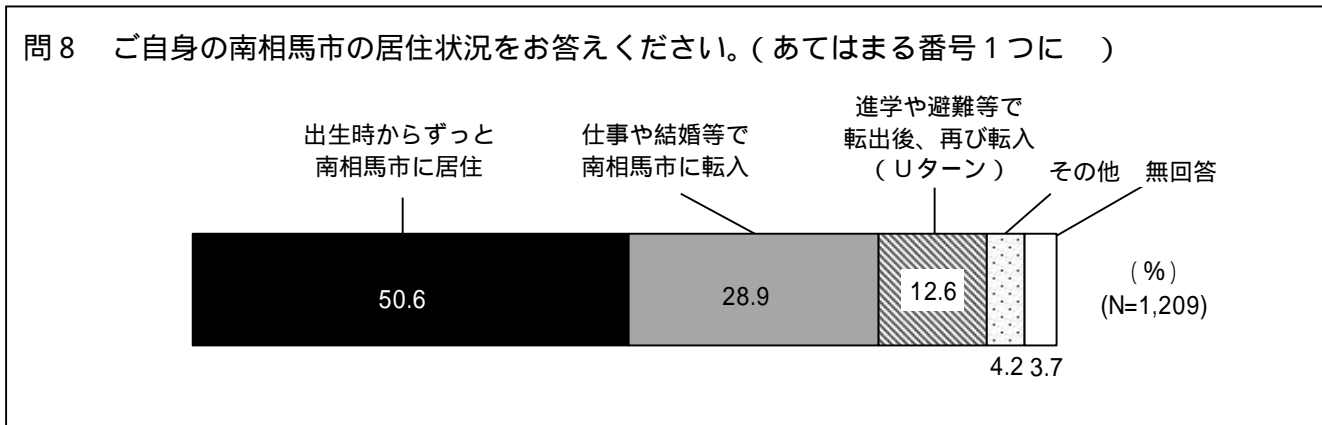
職業について、「無職」が39.1%と最も多く4割弱となっている。

業種



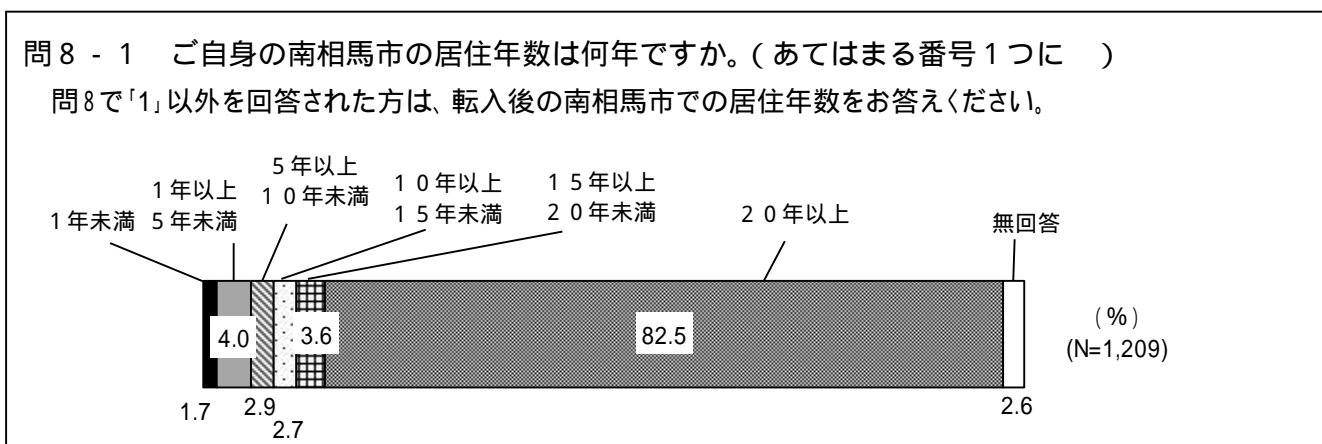
仕事についている人(学生・専業主婦・無職以外)の業種は、「医療, 福祉, 学術研究, 教育, 学習支援」が15.9%と最も多く、次いで「製造業」が14.5%となっている。

(8) 居住状況



南相馬市の居住状況について、「出生時からずっと南相馬市に居住」が 50.6%と過半数であり、次いで「仕事や結婚等で南相馬市に転入」が 28.9%となっている。

(9) 居住年数

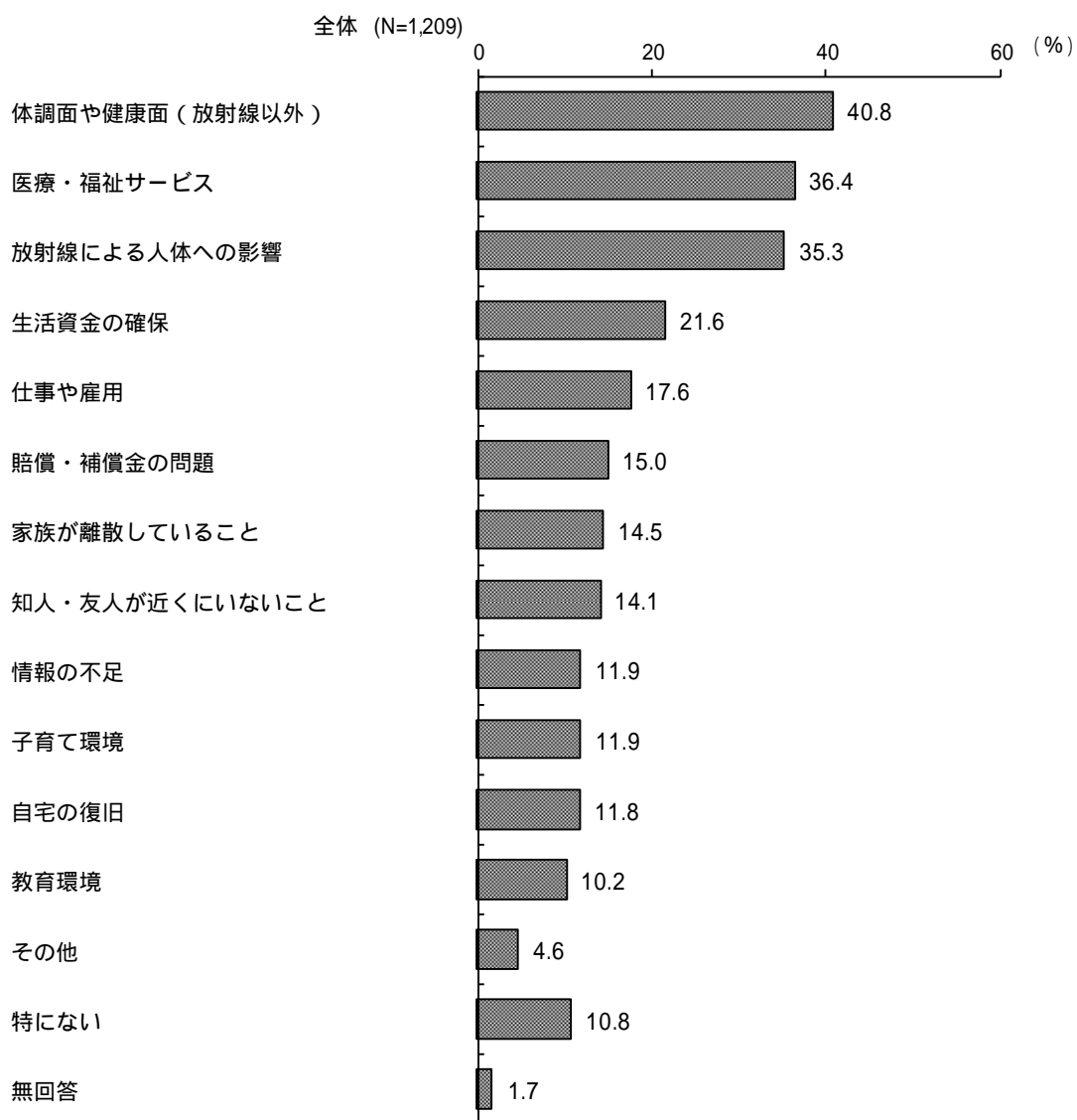


南相馬市の居住年数について、「20年以上」が 82.5%と最も多く、以下「1年以上 5年未満」が 4.0%、「15年以上 20年未満」が 3.6%となっており、20年以上の長期にわたり南相馬市に居住している人が多い。

2. 生活の不安・心配

問9 あなたは現在の生活の中で、不安や心配を抱えていることはありますか。

(あてはまる番号すべてに)



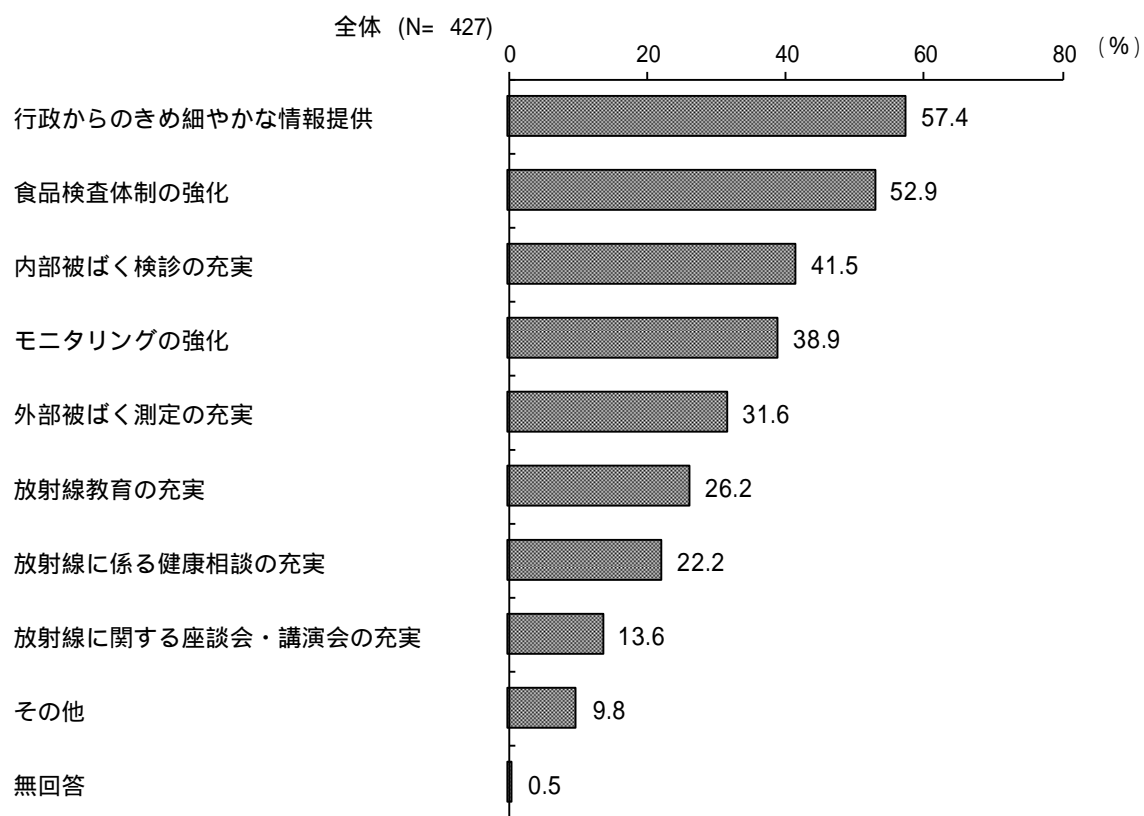
生活で抱えている不安や心配は、「体調面や健康面 (放射線以外)」が 40.8% と最も多く、次いで「医療・福祉サービス」が 36.4%、「放射線による人体への影響」が 35.3% となっている。

3. 放射線不安を払拭するための効果的な取組

【問9で「放射線による人体への影響」と回答した方におたずねします。】

問9 - 1 放射線不安を払拭するために、どのような取組が効果的だと思いますか。

(あてはまる番号すべてに)

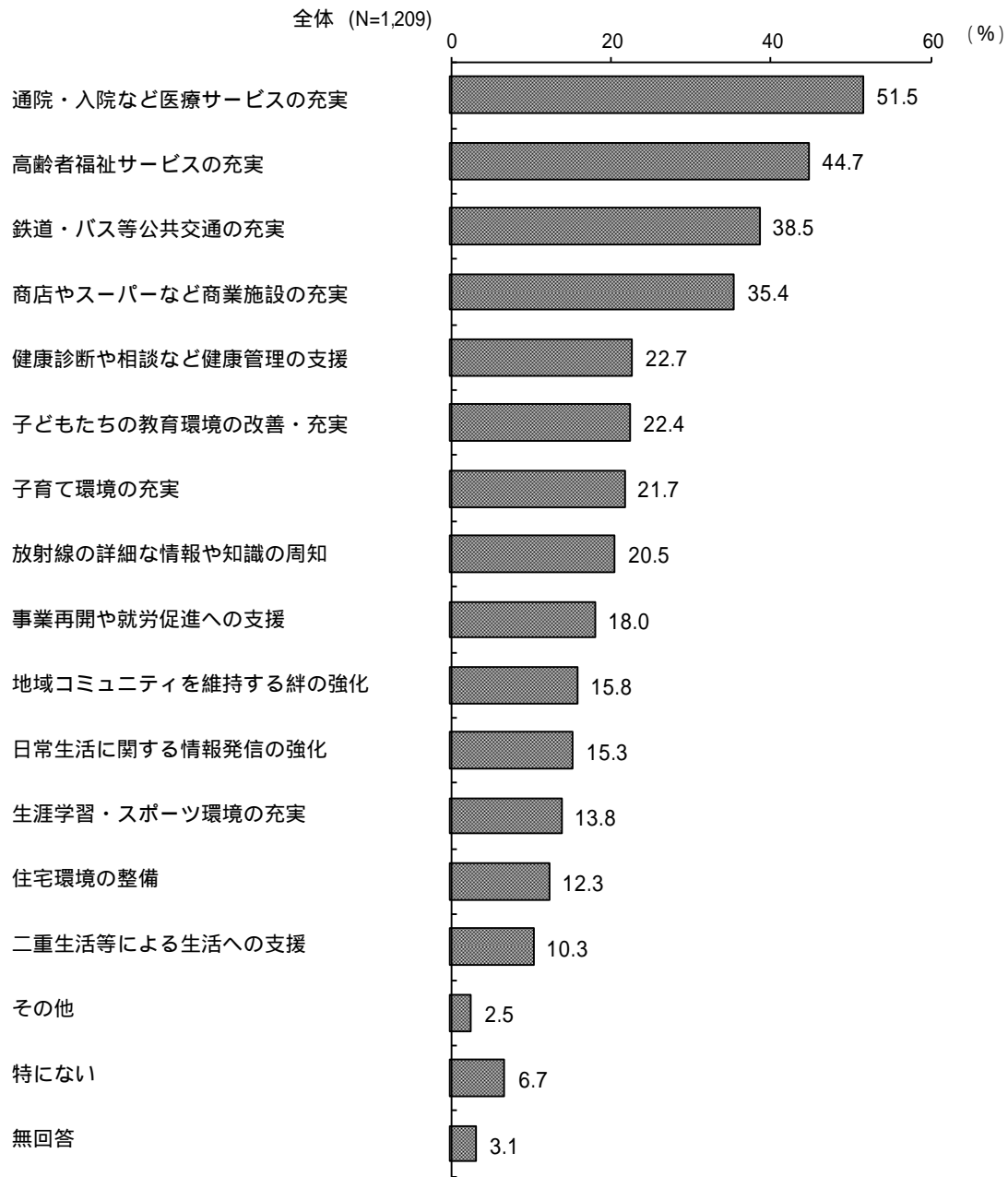


放射線による人体への影響が不安な人に、不安を払拭するための効果的な取組をたずねたところ、「行政からのきめ細やかな情報提供」が57.4%、「食品検査体制の強化」が52.9%と5割以上、次いで「内部被ばく検診の充実」(41.5%)、「モニタリングの強化」(38.9%)となっている。

4. 生活改善に必要な施策

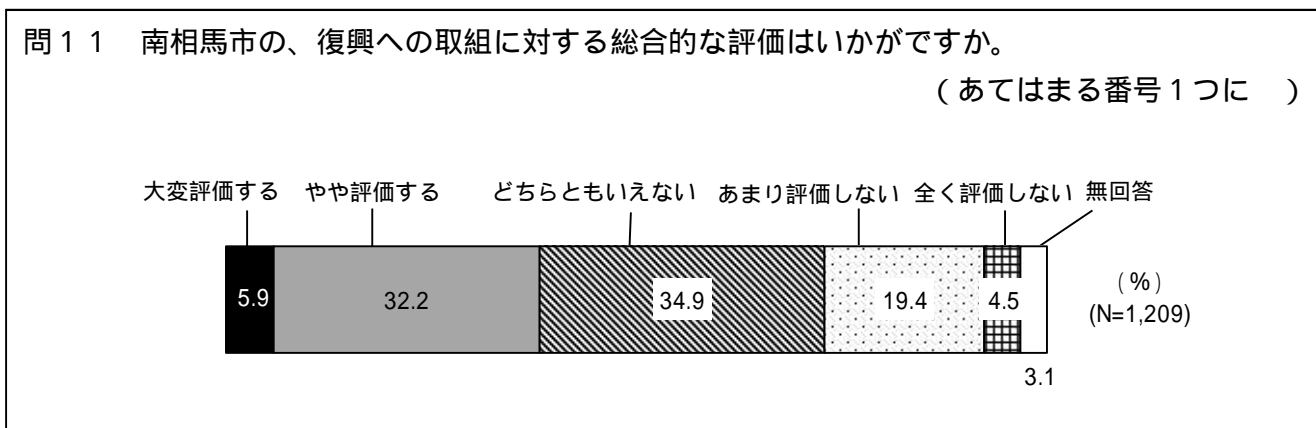
問10 あなたが日常生活の改善に向けて必要と考える施策をお選びください。

(あてはまる番号すべてに)



日常生活の改善に必要な施策については、「通院・入院など医療サービスの充実」が 51.5%と最も多く、次いで「高齢者福祉サービスの充実」(44.7%)、「鉄道・バス等公共交通の充実」(38.5%)となっている。

5 . 復興取組の総合評価



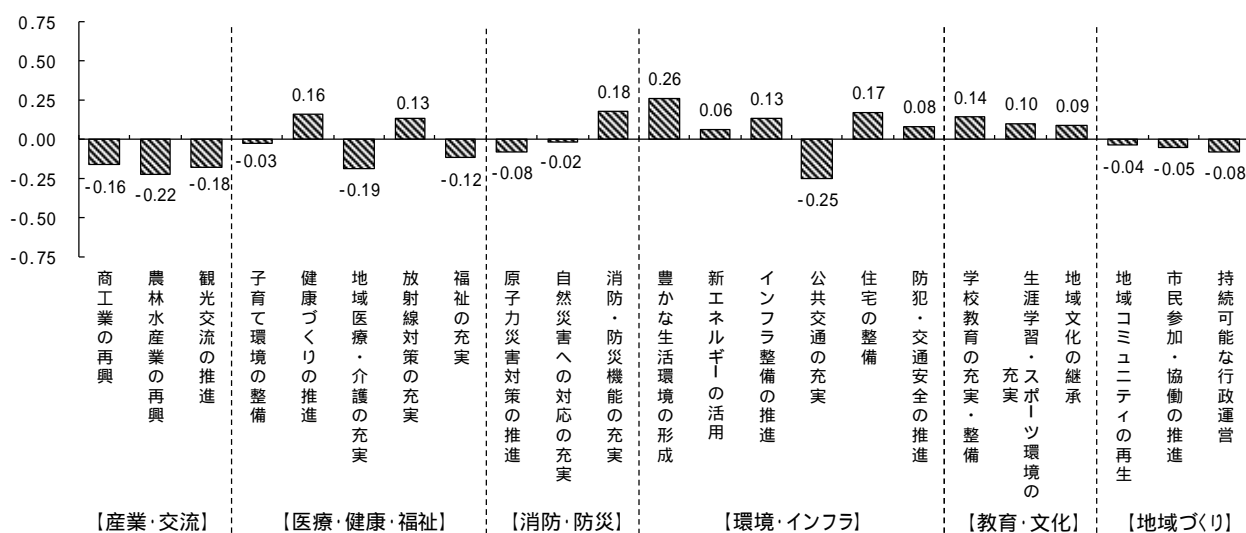
南相馬市の復興への取り組みに対する評価は、「どちらともいえない」が 34.9%と最も多い。

「大変評価する」(5.9%)と「やや評価する」(32.2%)を合わせた《高評価層》は 38.1%、「全く評価しない」(4.5%)と「あまり評価しない」(19.4%)を合わせた《低評価層》は 23.9%となっている。

6. 各施策の評価

問12 復興総合計画で進められている以下の各施策について、現時点での評価をそれぞれお選びください。(それぞれあてはまる番号1つに)

【評価点】



各施策の評価について、選択肢ごとに以下の点数を付与し、その合計を回答数（無回答を除く）で除することで評価点を算出した。

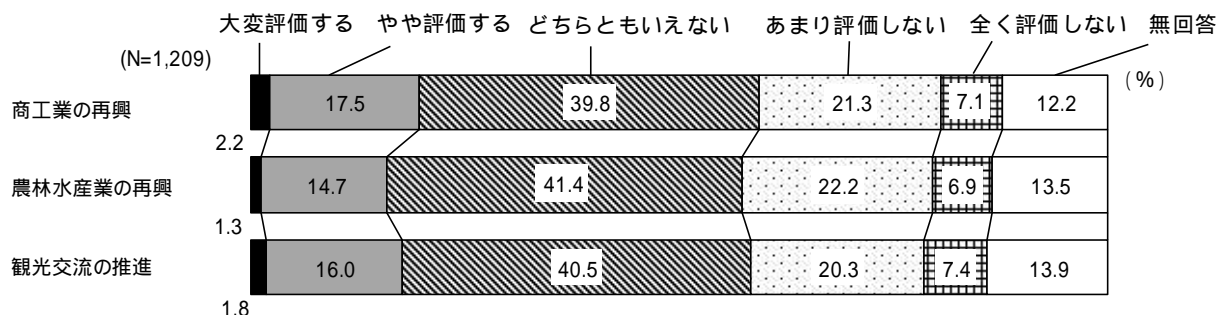
- 「大変評価する」：2点、「やや評価する」：1点、
- 「どちらともいえない」：0点、
- 「あまり評価しない」：-1点、「全く評価しない」：-2点、「無回答」：点数の付与はしない

この結果、評価点がプラスになった項目は、「健康づくりの推進」、「放射線対策の充実」、「消防・防災機能の充実」、「豊かな生活環境の形成」、「新エネルギーの活用」、「インフラ整備の推進」、「住宅の整備」、「防犯・交通安全の推進」、「学校教育の充実・整備」、「生涯学習・スポーツ環境の充実」、「地域文化の継承」であり、これらの項目は評価が高いことがわかる。

一方、これ以外の項目は評価点がマイナスとなり、特に「農林水産業の再興」、「公共交通の充実」は点数が-0.2点を下回っており評価が低くなっている。

問12 今後、復興総合計画で進められる以下の各施策について、現時点での評価をそれぞれお選びください。(それぞれあてはまる番号1つに)

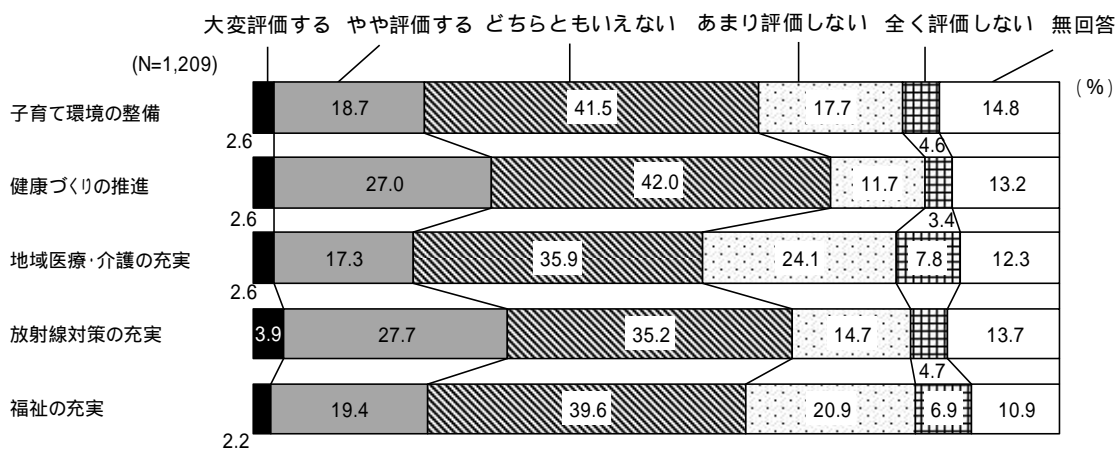
【産業・交流】



産業・交流については、全ての項目で《低評価層》が《高評価層》を上回っており、いずれも《低評価層》が約3割と評価が低くなっている。

問12 今後、復興総合計画で進められる以下の各施策について、現時点での評価をそれぞれお選びください。(それぞれあてはまる番号1つに)

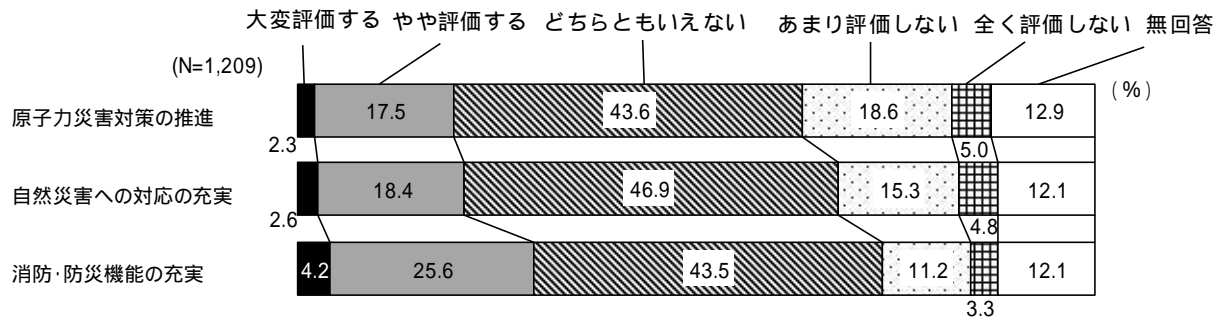
【医療・健康・福祉】



医療・健康・福祉については、「健康づくりの推進」、「放射線対策の充実」で《高評価層》が《低評価層》を上回っているが、それ以外の項目は《低評価層》が《高評価層》を上回っている。特に、「地域医療・介護の充実」は《低評価層》が3割以上と評価が低くなっている。

問 1 2 今後、復興総合計画で進められる以下の各施策について、現時点での評価をそれぞれお選びください。(それぞれあてはまる番号1つに)

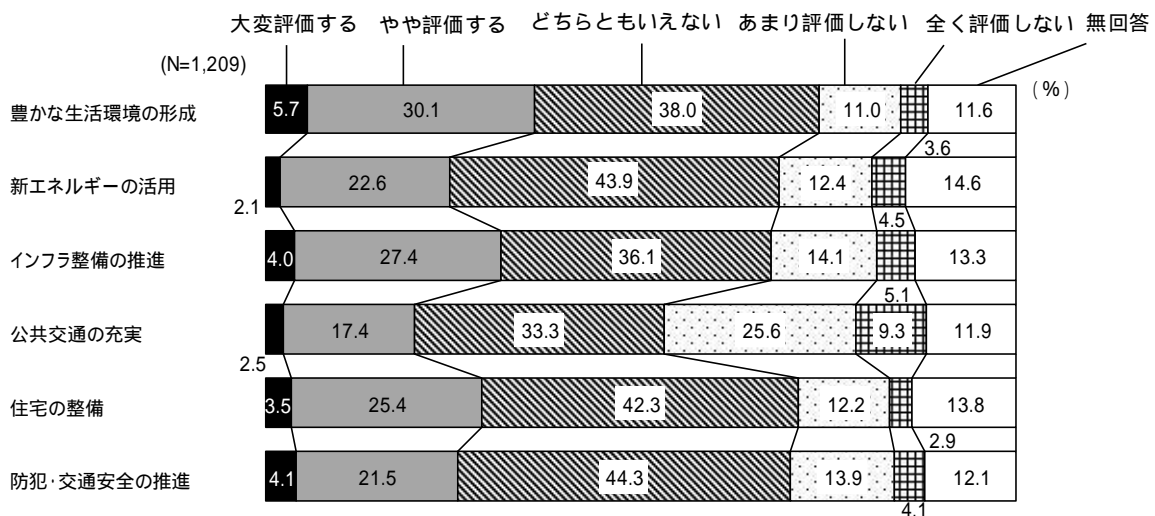
【消防・防災】



消防・防災については、「自然災害への対応の充実」、「消防・防災機能の充実」で《高評価層》が《低評価層》を上回っている。

問 1 2 今後、復興総合計画で進められる以下の各施策について、現時点での評価をそれぞれお選びください。(それぞれあてはまる番号1つに)

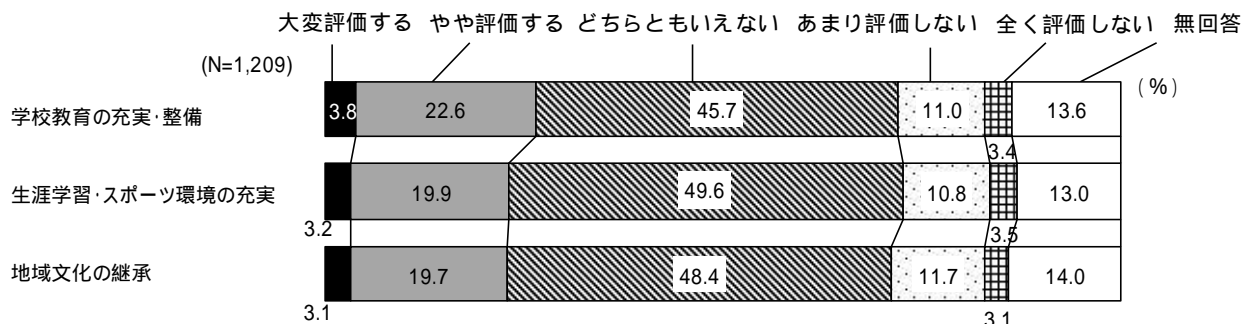
【環境・インフラ】



環境・インフラについては、「公共交通の充実」以外の項目で《高評価層》が《低評価層》を上回っている。一方、「公共交通の充実」は《低評価層》が3割以上と評価が低い。

問12 今後、復興総合計画で進められる以下の各施策について、現時点での評価をそれぞれお選びください。(それぞれあてはまる番号1つに)

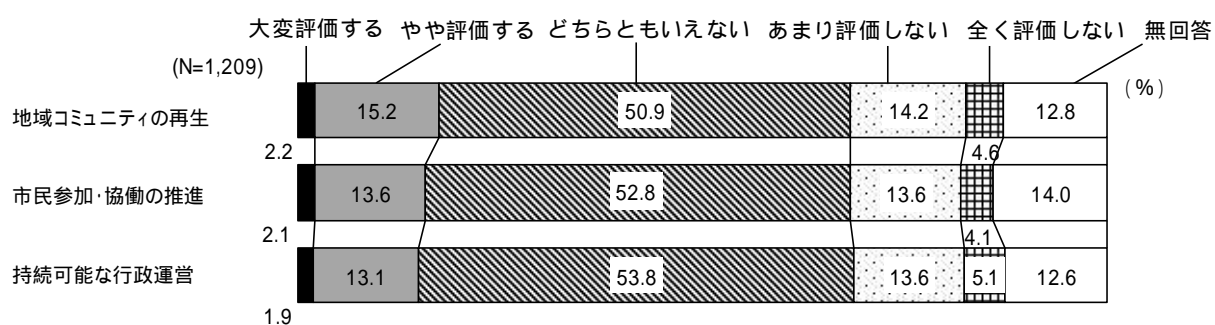
【教育・文化】



教育・文化については、全ての項目で《高評価層》が《低評価層》を上回っている。

問12 今後、復興総合計画で進められる以下の各施策について、現時点での評価をそれぞれお選びください。(それぞれあてはまる番号1つに)

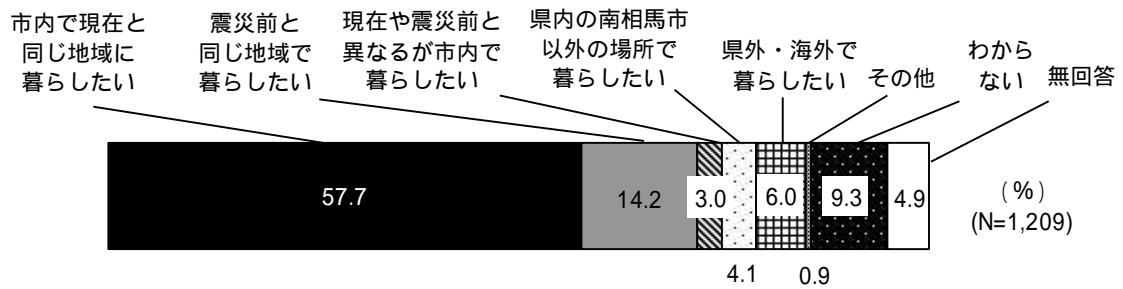
【地域づくり】



地域づくりについては、全ての項目で《低評価層》が《高評価層》を上回っている。

7. 今後の定住意向

問13 あなたは南相馬市に、今後も暮らしたいと思いますか。(あてはまる番号1つに)

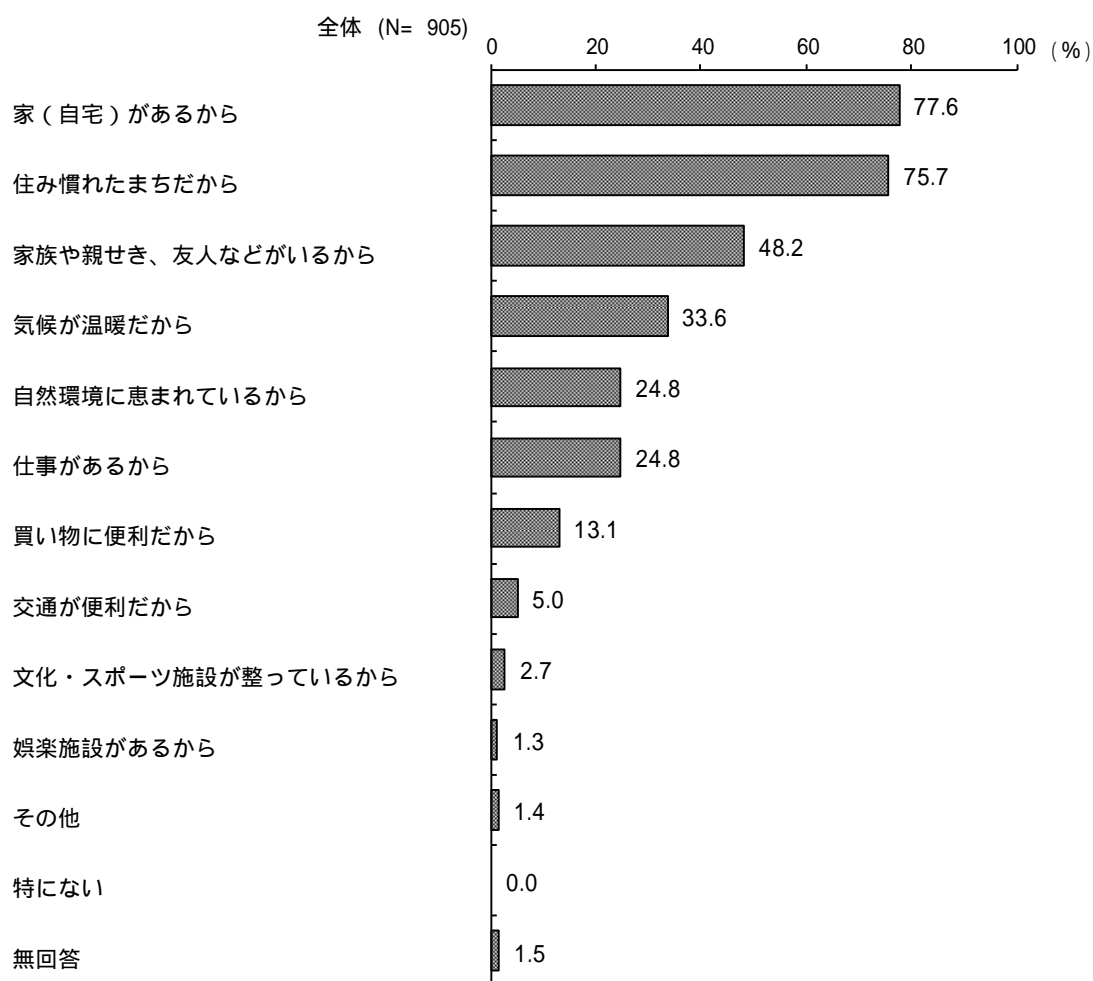


今後の南相馬市での定住意向については、「市内で現在と同じ地域に暮らしたい」が57.7%と最も多く、「震災前と同じ地域で暮らしたい」(14.2%)、「現在や震災前と異なるが市内で暮らしたい」(3.0%)を合わせると、市内での定住を希望する人は全体の約7割となっている。

8 . 南相馬市に居住し続けたい理由

【問 13 で市内で暮らしたい(「1」～「3」)と回答した方におたずねします。】

問 1 3 - 1 その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに)

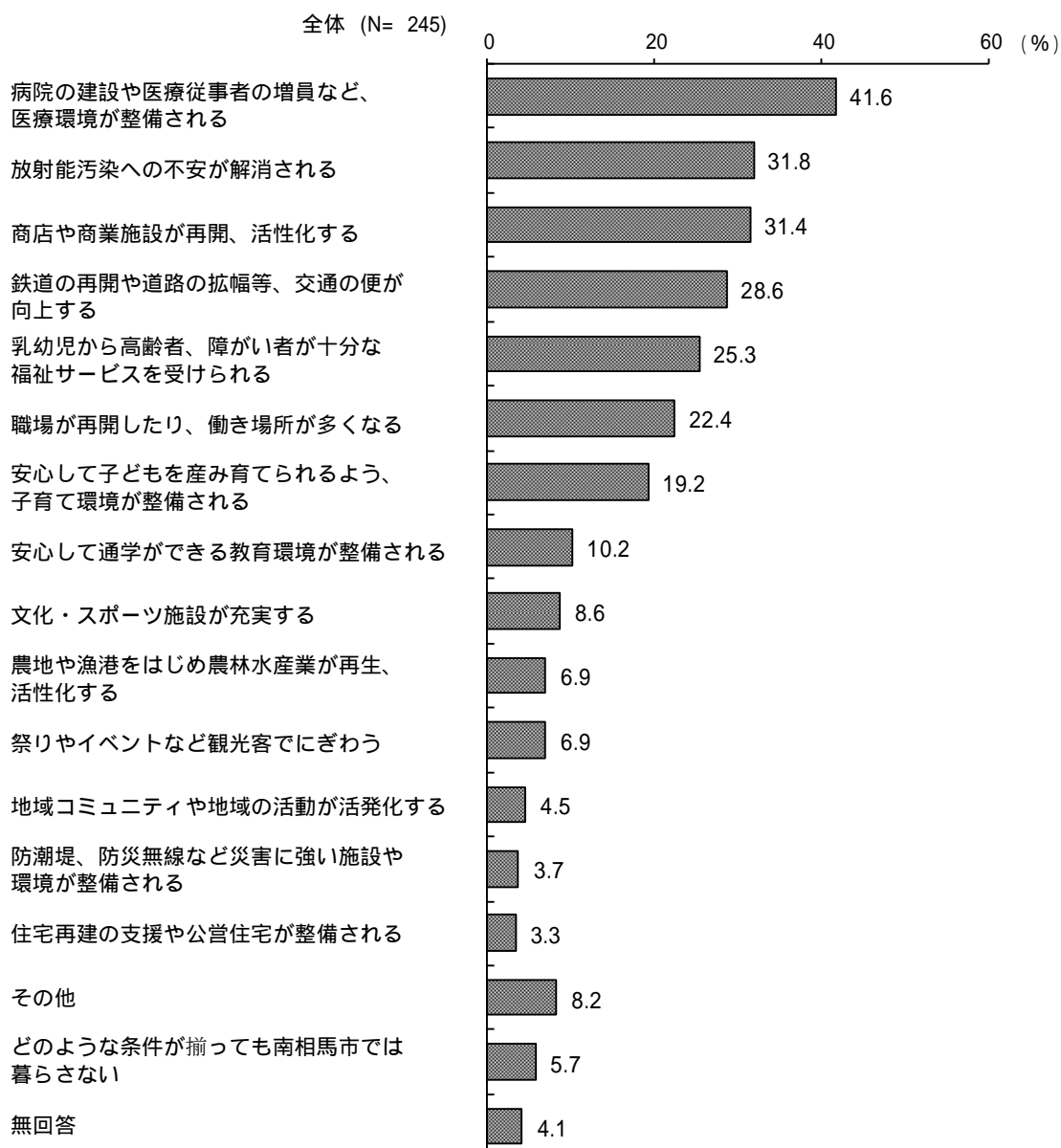


今後市内での居住を希望する人に、その理由をたずねたところ、「家(自宅)があるから」(77.6%)、「住み慣れたまちだから」(75.7%)がともに7割以上と多くなっている。

9. 南相馬市で暮らすための条件

【問13で市外で暮らしたい、わからない(「4」～「7」)と回答した方におたずねします。】

問13-2 どのようなまちになったら(条件が揃ったら)南相馬市で暮らしたいと思いますか。
(特にそう思うもの3つまで)



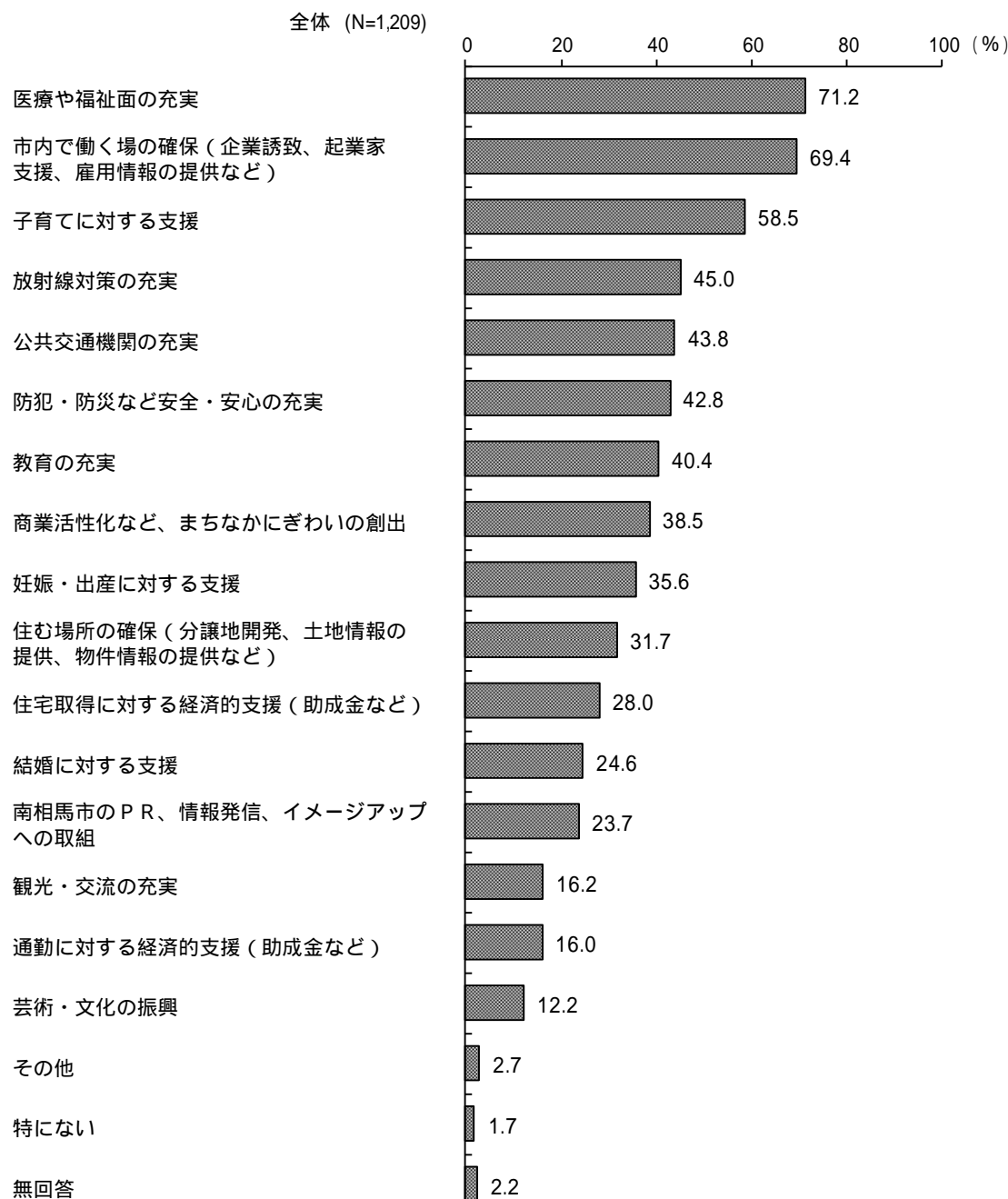
昨年度は「除染が進み、放射能汚染への不安が解消される」

今後の居住意向について市外で暮らしたい、わからないと回答した人に南相馬市で暮らすための条件をたずねたところ、「病院の建設や医療従事者の増員など、医療環境が整備される」が41.6%と最も多く、次いで「放射能汚染への不安が解消される」が31.8%、「商店や商業施設が再開、活性化する」が31.4%となっている。

10. 若い世代が南相馬市に住み続けるために重要なこと

問14 若い世代が南相馬市に住み続けるために、何が重要だと思いますか。

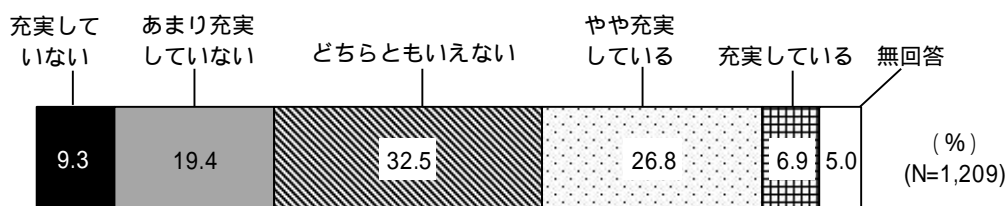
(あてはまる番号すべてに)



若い世代が南相馬市に住み続けるために重要なことについては、「医療や福祉面の充実」(71.2%)、「市内で働く場の確保 (企業誘致、起業家支援、雇用情報の提供など)」(69.4%) がともに約7割と多く、次いで「子育てに関する支援」(58.5%) となっている。医療に関する項目が回答数の上位となっているのは問10 (生活改善に必要な施策) や問13 - 2 (南相馬市で暮らすための条件) と同様だが、本問では雇用や子育てに関する項目が回答数の上位として続いており、若い世代の居住という点では、これらの項目が重要視されていることがわかる。

11. 生活の充実度

問15-1 現在あなたの生活は充実していますか。(あてはまる番号1つに)



生活の充実度については、「どちらともいえない」が32.5%と最も多い。

「充実している」(6.9%)と「やや充実している」(26.8%)を合わせた《高充実度層》は33.7%、「充実していない」(9.3%)、「あまり充実していない」(19.4%)を合わせた《低充実度層》は28.7%となっている。

また、生活の充実度について、選択肢ごとに以下の点数を付与し、その合計を回答数(無回答を除く)で除することで点数を算出した。

「充実している」: 5点、「やや充実している」: 4点、
「どちらともいえない」: 3点、
「あまり充実していない」: 2点、「充実していない」: 1点、「無回答」: 点数の付与はしない

この結果、当調査結果の点数は3.03点となっており、平均点(3点)を僅かに上回っている。

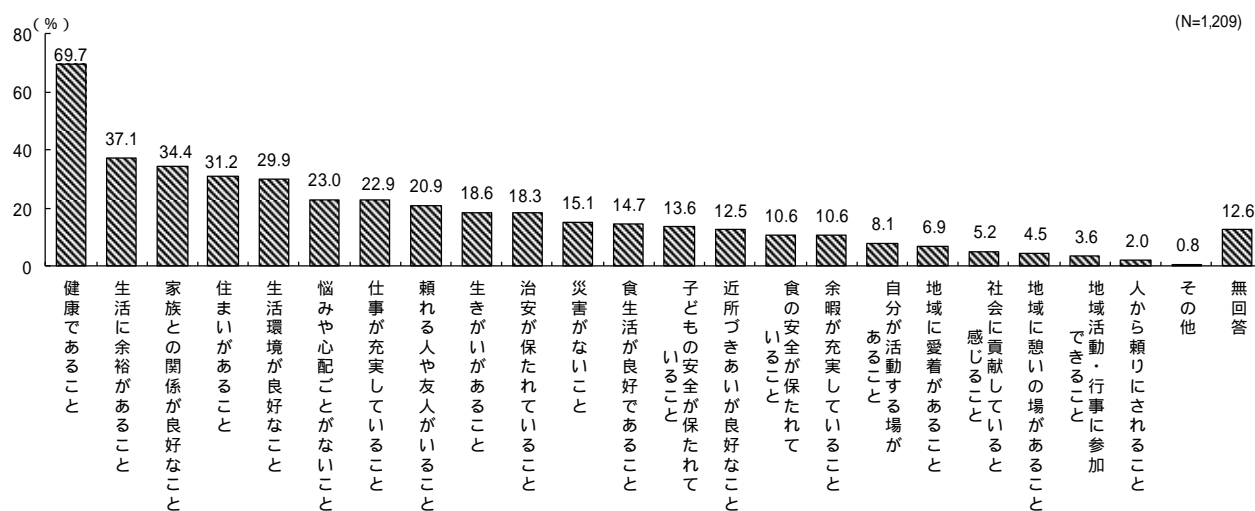
12. 充実した生活を送るための条件

問15-2

あなたにとって、充実した生活を送るために必要な条件はどんなことですか。
 選択肢欄より、重要だと思う順に5つまで選び の回答欄にご記入ください。

で選択した項目は、現在満たされて(充実して)いますか。
 の回答欄のあてはまる番号に、それぞれ1つずつ をつけてください。

【必要な条件(第1位~第5位の合算)】



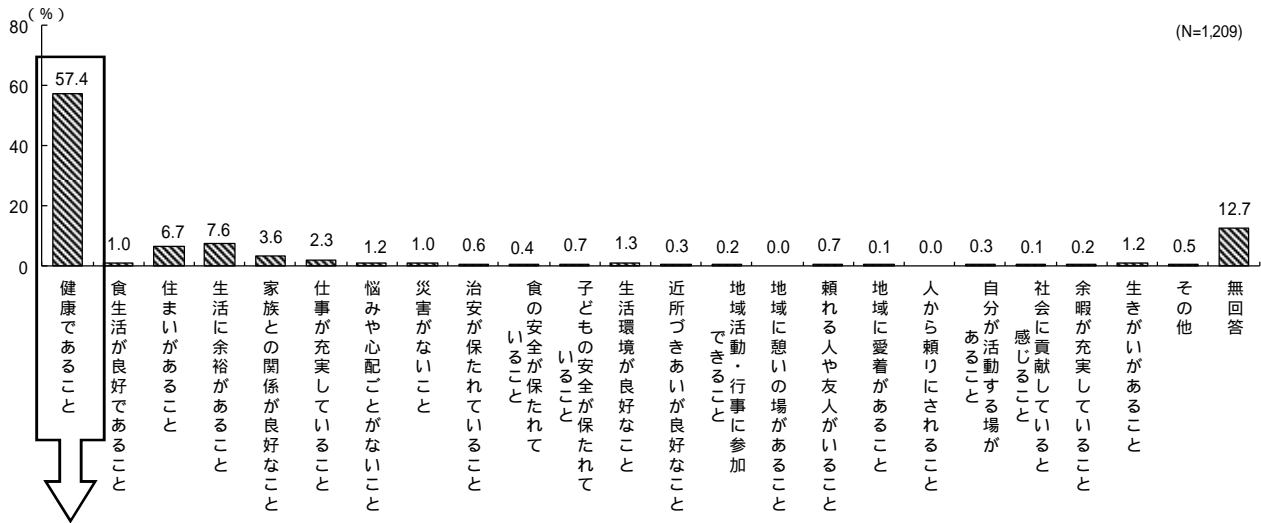
充実した生活を送るために必要な条件について、重要だと思う順に第1位~第5位までを選んでもらったところ、第1位~第5位の合算としては、「健康であること」が69.7%と最も多く、次いで「生活に余裕があること」(37.1%)、「家族との関係が良好なこと」(34.4%)、「住まいがあること」(31.2%)、「生活環境が良好なこと」(29.9%)となっている。

問15-2

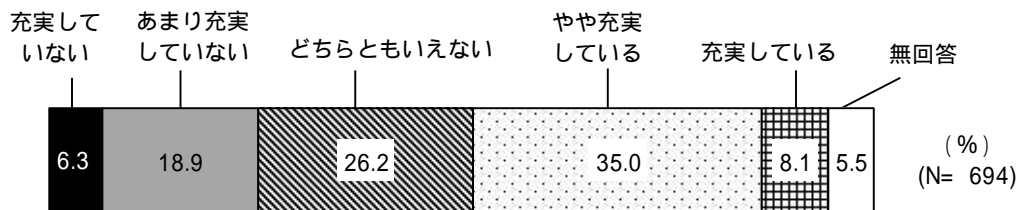
あなたにとって、充実した生活を送るために必要な条件はどんなことですか。
 選択肢欄より、重要だと思う順に5つまで選び の回答欄にご記入ください。

で選択した項目は、現在満たされて（充実して）いますか。
 の回答欄のあてはまる番号に、それぞれ1つずつ をつけてください。

【必要な条件（第1位）】



【最も必要な条件（健康であること）の充実度】

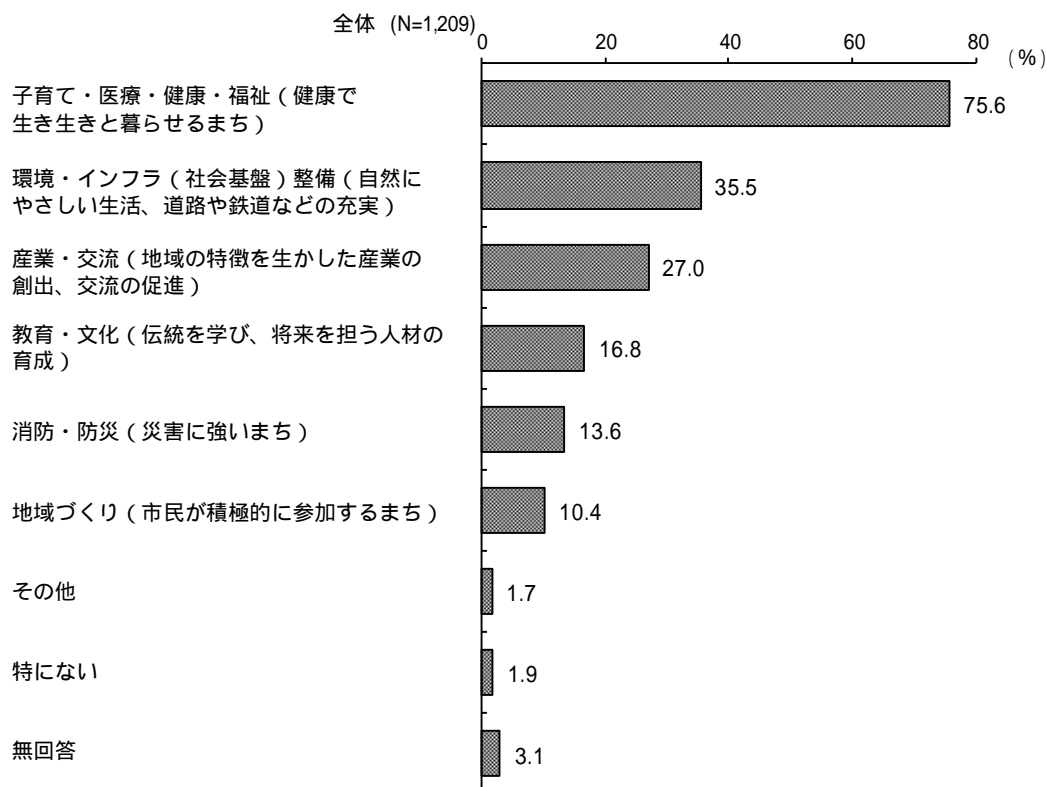


充実した生活を送るために必要な条件について、第1位として選ばれた項目としては、「健康であること」が57.4%と突出しており、次いで「生活に余裕があること」(7.6%)、「住まいがあること」(6.7%)となっている。

また、充実した生活を送るために最も重要だと思うことについて、現在充実しているかをたずねたところ、第1位として選ばれた項目で最も回答数が多い「健康であること」は、「やや充実している」が35.0%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が26.2%、「あまり充実していない」が18.9%となっている。「充実している」および「やや充実している」の合算は43.1%、「あまり充実していない」および「充実していない」の合算が25.2%であり、「健康であること」は充実しているとの回答が多い。

13. 力を入れるべき施策分野

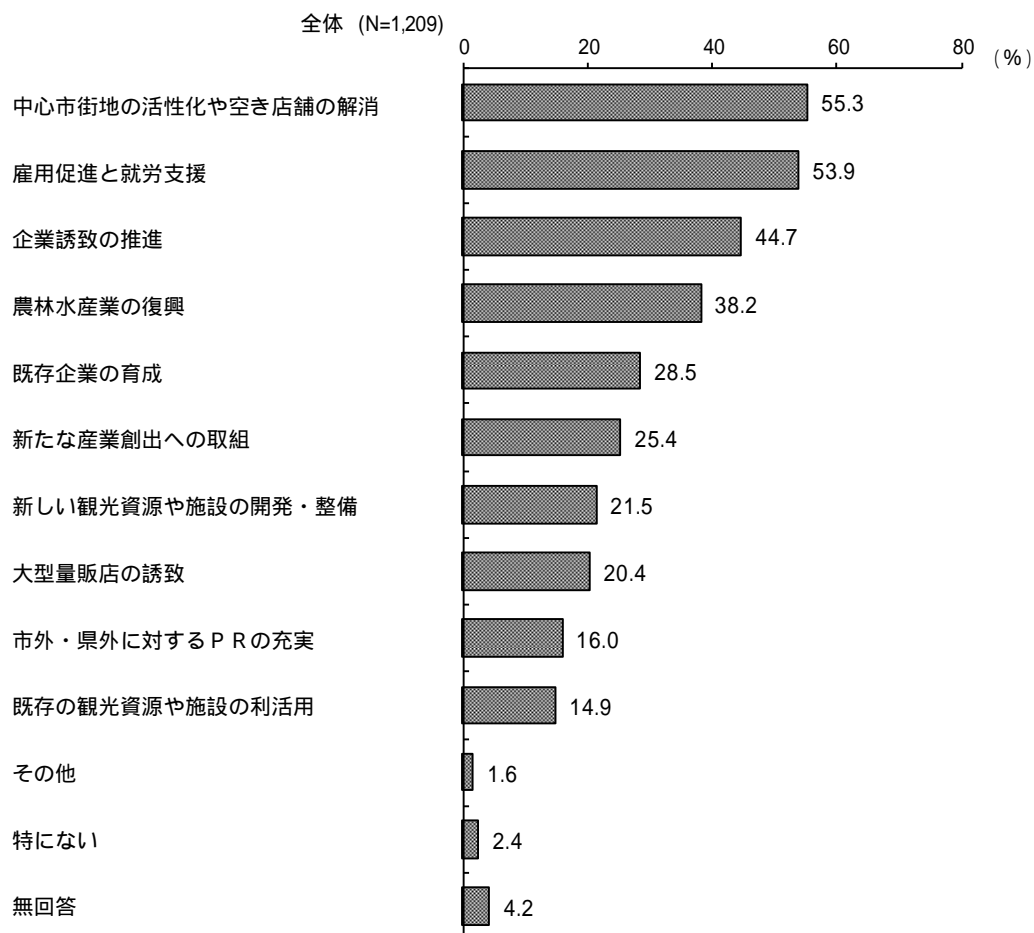
問16 今後、南相馬市が取り組む施策のうち、特に力を入れるべき分野・事項についてお答えください。(特にそう思うもの2つまで)



南相馬市が取り組む施策で力を入れるべき分野・事項について、「子育て・医療・健康・福祉 (健康で生き生きと暮らせるまち)」が 75.6%と最も多く、次いで「環境・インフラ (社会基盤) 整備 (自然にやさしい生活、道路や鉄道などの充実)」が 35.5%となっている。

14.【産業・交流】力を入れるべき事項

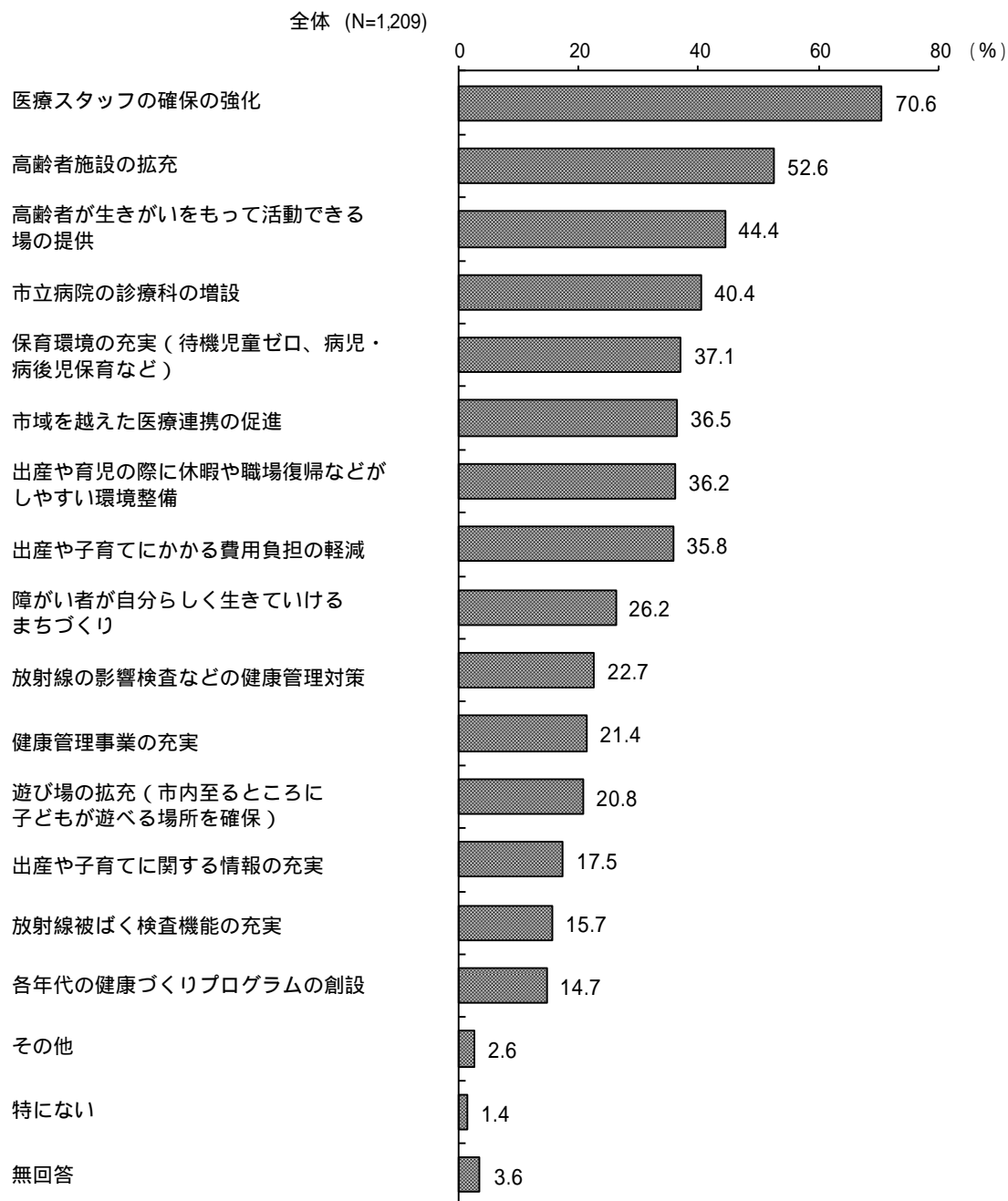
問17 今後、南相馬市が取り組む施策「産業・交流」について、力を入れるべき事項についてお答えください。(あてはまる番号すべてに)



南相馬市が取り組む施策「産業・交流」で力を入れるべき事項については、「中心市街地の活性化や空き店舗の解消」が55.3%と最も多く、次いで「雇用促進と就労支援」が53.9%となっている。

15.【子育て・医療・健康・福祉】力を入れるべき事項

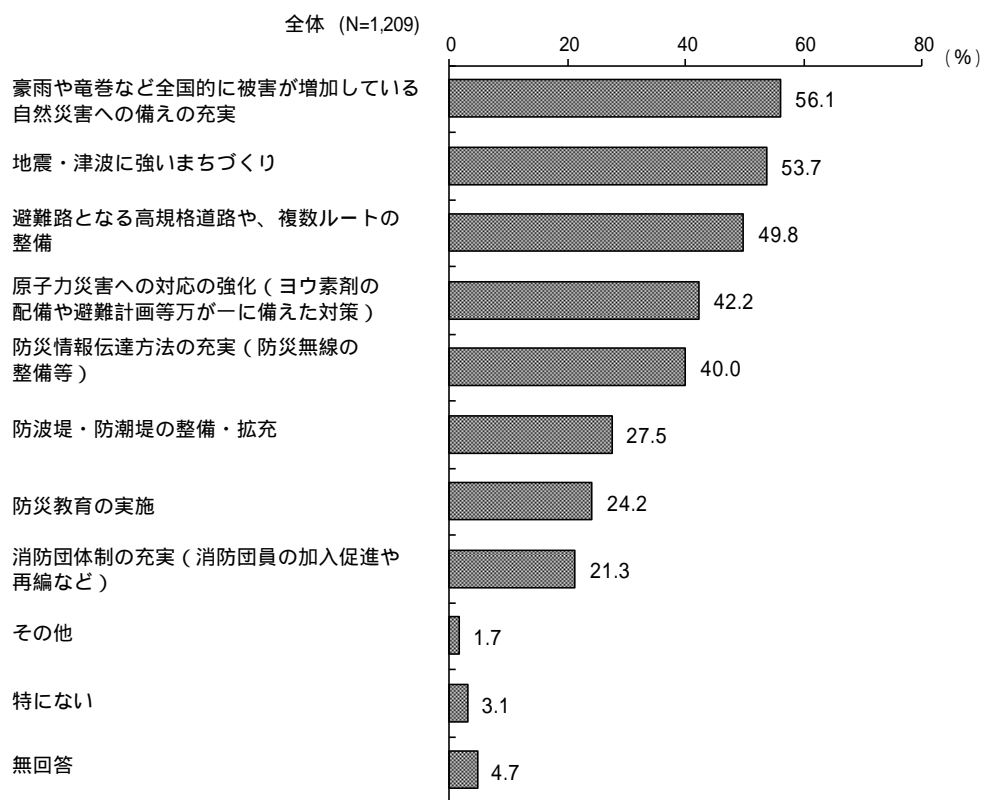
問18 今後、南相馬市が取り組む施策「子育て・医療・健康・福祉」について、力を入れるべき事項についてお答えください。(あてはまる番号すべてに)



南相馬市が取り組む施策「子育て・医療・健康・福祉」で力を入れるべき事項については、「医療スタッフの確保の強化」が70.6%と最も多く、次いで「高齢者施設の拡充」(52.6%)、「高齢者が生きがいをもって活動できる場の提供」(44.4%)となっている。

16.【消防・防災】力を入れるべき事項

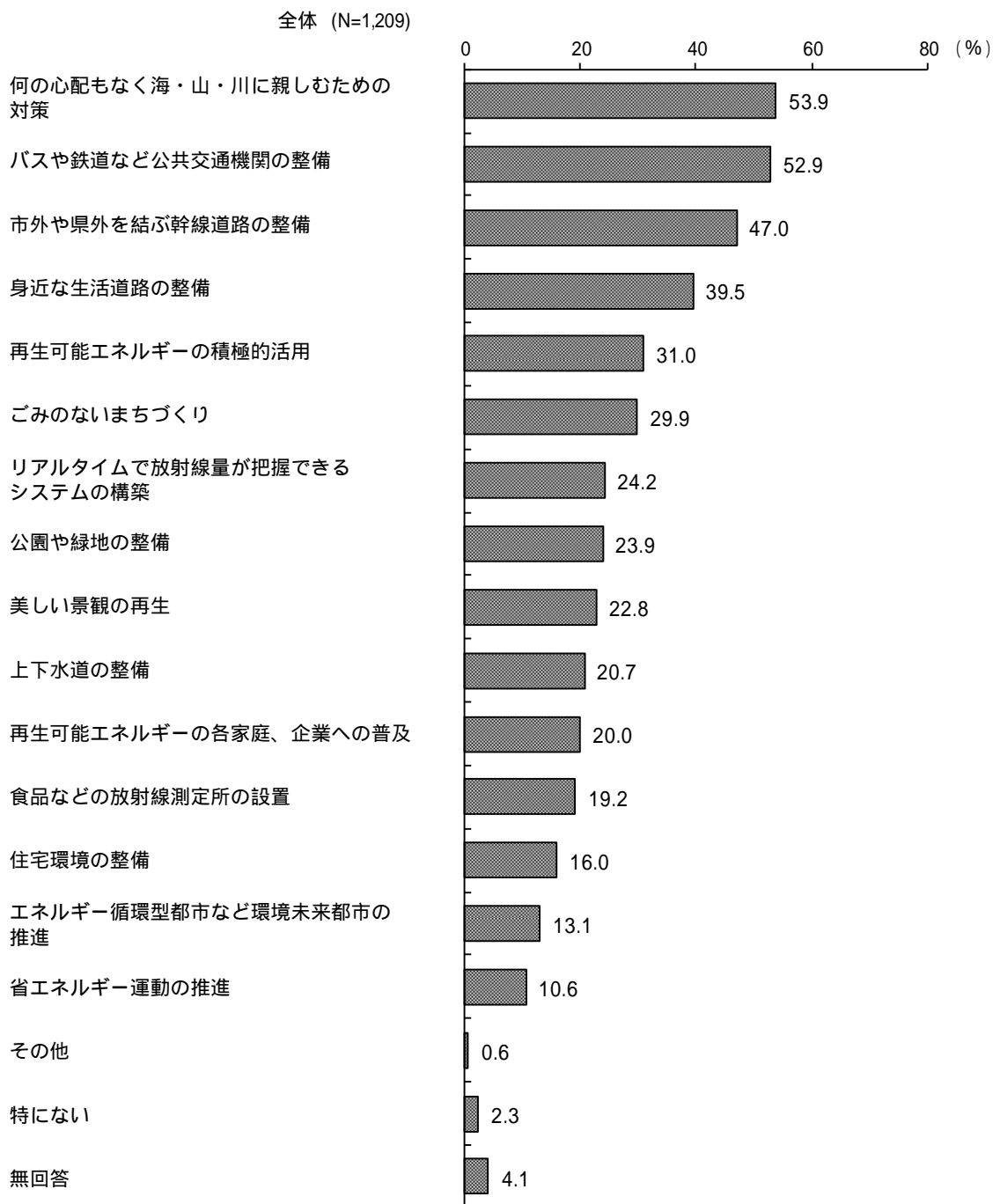
問19 今後、南相馬市が取り組む施策「消防・防災」について、力を入れるべき事項についてお答えください。(あてはまる番号すべてに)



南相馬市が取り組む施策「消防・防災」で力を入れるべき事項については、「豪雨や竜巻など全国的に被害が増加している自然災害への備えの充実」が56.1%と最も多く、次いで「地震・津波に強いまちづくり」(53.7%)、「避難路となる高規格道路や複数ルートの整備」(49.8%)となっている。

17.【環境・インフラ（社会基盤）整備】力を入れるべき事項

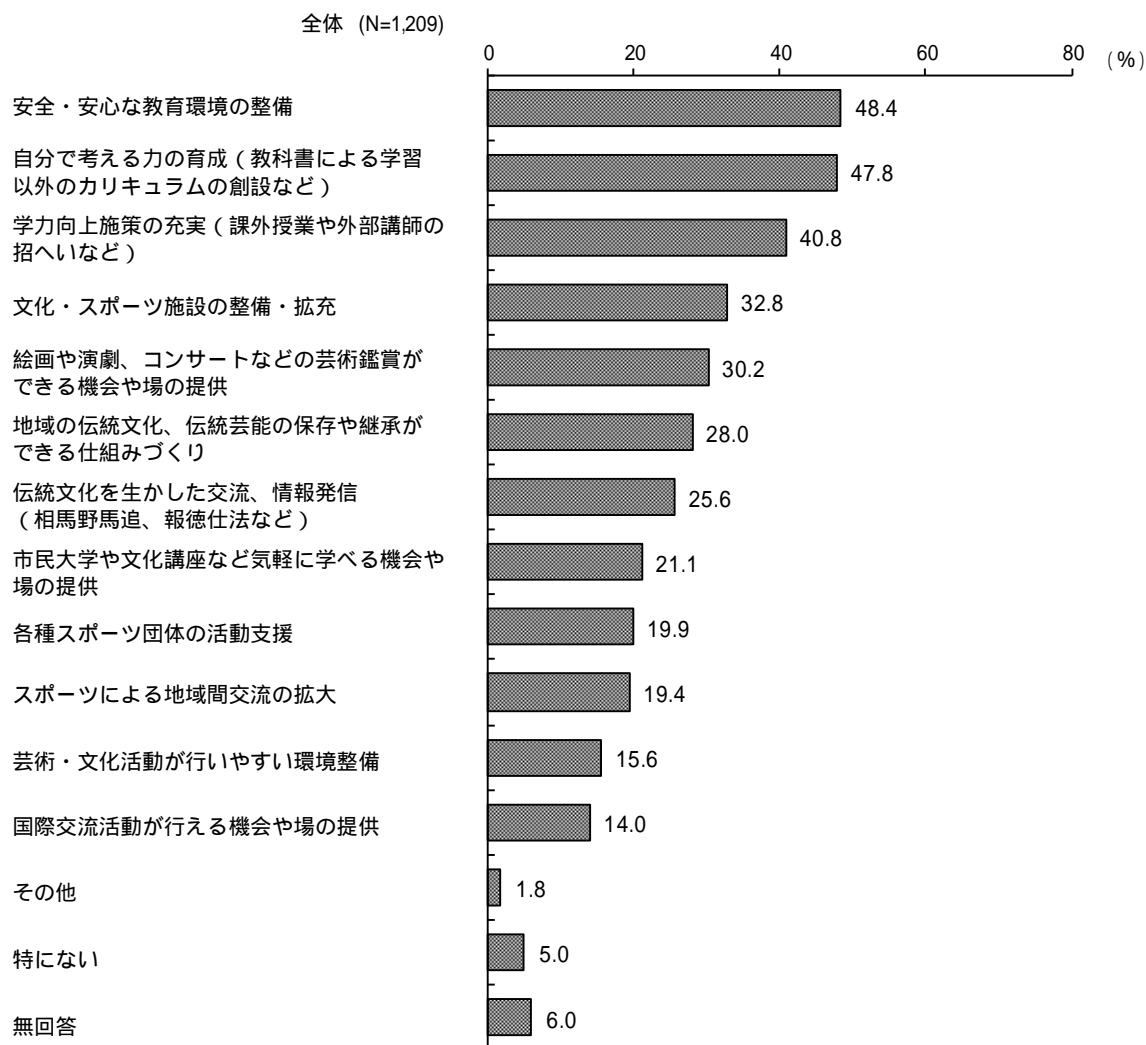
問20 今後、南相馬市が取り組む施策「環境・インフラ（社会基盤）整備」について、力を入れるべき事項についてお答えください。（あてはまる番号すべてに ）



南相馬市が取り組む施策「環境・インフラ（社会基盤）整備」で力を入れるべき事項については、「何の心配もなく海・山・川に親しむための対策」が53.9%と最も多く、次いで「バスや鉄道など公共交通機関の整備」(52.9%)、「市外や県外を結ぶ幹線道路の整備」(47.0%)となっている。

18.【教育・文化】力を入れるべき事項

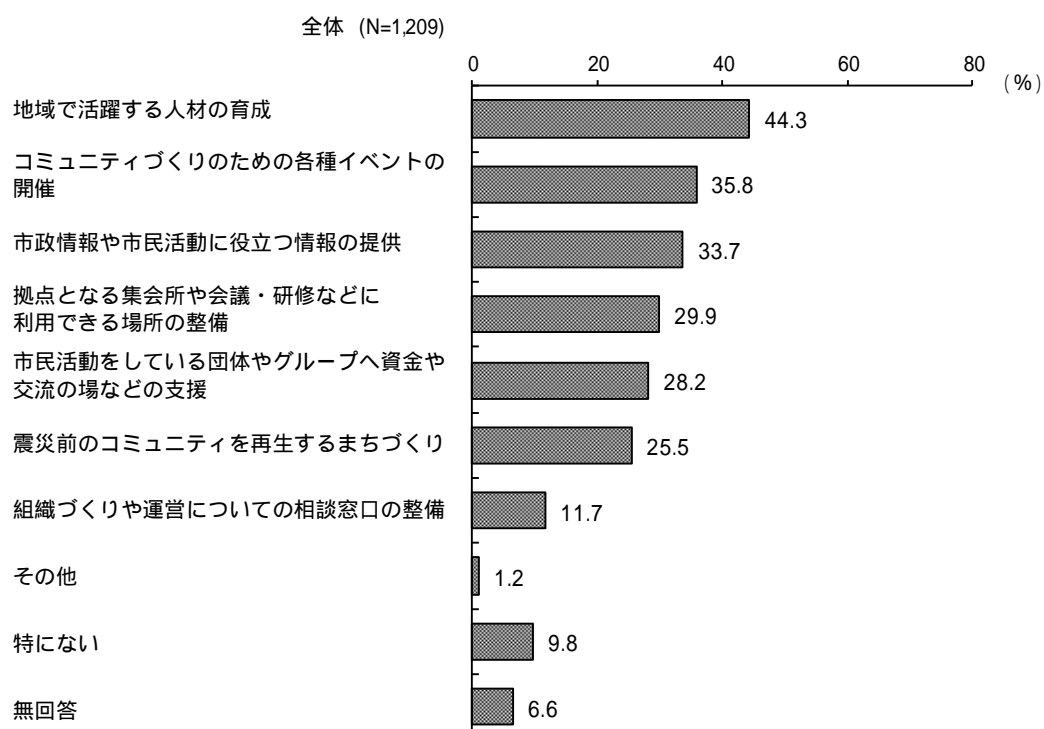
問21 今後、南相馬市が取り組む施策「教育・文化」について、力を入れるべき事項についてお答えください。(あてはまる番号すべてに)



南相馬市が取り組む施策「教育・文化」で力を入れるべき事項については、「安全・安心な教育環境の整備」が48.4%と最も多く、次いで「自分で考える力の育成(教科書による学習以外のカリキュラムの創設など)」(47.8%)、「学力向上施策の充実(課外授業や外部講師の招へいなど)」(40.8%)となっている。

19.【地域づくり】力を入れるべき事項

問22 今後、南相馬市が取り組む施策「地域づくり」について、力を入れるべき事項についてお答えください。(あてはまる番号すべてに)



南相馬市が取り組む施策「地域づくり」で力を入れるべき事項については、「地域で活躍する人材の育成」が 44.3%と最も多く、次いで「コミュニティづくりのための各種イベントの開催」が 35.8%となっている。

南相馬市 市民意識調査
調査結果報告書

2017年10月発行

南相馬市復興企画部企画課

〒975-8686 福島県南相馬市原町区本町二丁目27番地
電話 0244-22-2111(代表)